

令和 8 年度

参 考 図 書

事 業 名 : 公共下水道事業

工 事 場 所 : 竹原市 本町

工 事 名 : 本町地区下水道（面整備）工事 R8-1

建設リサイクル法 12 条 13 条対象

【添付書類】

- 総括情報表
- 工事費内訳表 施工単価表
- 数量計算書

等

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 50 竹原市 00-08.04.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート As ……アスファルト DT ……ダンプトラック BH ……バックホウ CC ……クローラクレーン TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 31 下水道工事 (2) 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費【補助】					X1000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
管路埋戻	750	m3			単第0 -0001 表 Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
発生土処理 現場 仮置場	520	m3			単第0 -0003 表 Y1101010103 レベル4
	1	式			

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	750	m3			単第0 -0005 表
発生土処理 仮置場 処分場					Y1101010103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	170	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	170	m3			単第0 -0008 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 土砂					T9003 00
	170	m3			
埋戻土運搬 仮置場 現場					Y1101010104レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	580	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)					SPK25040002 00
	580	m3			単第0 -0009 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			
リブ付硬質塩化ビニル管 【 200】					Y1101010205 レベル4
	401.5	m			
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 管径 200mm					SG1D0700002 00
	401.5	m			単第0 -0010 表
伸縮可とう継手(管)					Y1101010211 レベル4
	15	箇所			
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径200mm, ヒューム管径150mm					TH011042 00
	15	組			
埋設標識テープ					Y1101010216 レベル4
	399.6	m			
埋設標識シート 幅150mm×長50m, シングル 上下水道用					TH011286 00
	8.0	巻			
管基礎工					Y11010103 レベル3
	1	式			
碎石基礎 【RC-40】					Y1101010302 レベル4
	399.6	m			

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砕石基礎工(機械施工)					SG1D0020002 00
管路土留工	134	m3			単第0 -0011 表
軽量鋼矢板土留	1	式			Y11010105 レベル3
軽量鋼矢板建込工(両側分)	1	式			Y1101010503 レベル4
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	66.1	m			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板建込工(両側分)	66.1	m			単第0 -0012 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	66.1	m			SG1D0033002 00
軽量鋼矢板建込工(両側分)	177.5	m			単第0 -0013 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	177.5	m			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板建込工(両側分)	118.0	m			単第0 -0015 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	118.0	m			SG1D0033002 00
軽量鋼矢板建込工(両側分)	118.0	m			単第0 -0016 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	118.0	m			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板建込工(両側分)	118.0	m			単第0 -0017 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	118.0	m			SG1D0033002 00
	118.0	m			単第0 -0018 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板損料・修理費及び損耗費 補助	1	式			V000000100 00 単第0 -0019 表
土留支保工(軽量金属支保工)	171.6	m			SG1D0033008 00 単第0 -0020 表
土留支保工(軽量金属支保工)	171.6	m			SG1D0033008 00 単第0 -0021 表
土留支保工(軽量金属支保工)	190.0	m			SG1D0033008 00 単第0 -0022 表
土留支保工(軽量金属支保工)	190.0	m			SG1D0033008 00 単第0 -0023 表
支保工賃料及び基本料 補助	1	式			V000000200 00 単第0 -0024 表
開削水替工	1	式			Y11010109 レベル3
開削水替	1	式			Y1101010901 レベル4
ポンプ運転工	30	日			SG1D0042001 00 単第0 -0025 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	14	現場			単第0 -0027 表
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			
組立マンホール工 開削					Y11010202 レベル3
	1	式			
組立1号マンホール					Y1101020202レベル4
	5	箇所			
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450					TH003066 00
	2	個			
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×600					TH003068 00
	3	個			
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1200					TH003090 00
	2	個			
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1500					TH003092 00
	1	個			
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1800					TH003094 00
	2	個			

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)1種 底版 H=130	5	個			TH003096 00
マンホール付属品 調整リング 600×50	3	個			TH003098 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	1	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	1	個			TH003102 00
マンホール付属品 調整金具 調整高25mmまで	3	組			TH003104 00
マンホール付属品 調整金具 調整高45mmまで	2	組			TH003106 00
下水道用マンホールふた 有効径 600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-25	3	組			TH003182 00
下水道用マンホールふた 有効径 600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-14	2	組			TH003184 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径200用	5	個所			TH003130 00

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
転落防止はしご 600用	3	個			F0000000058 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	5	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0028 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	5	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0030 表
組立マンホール工 推進	1	式			Y11010202 レベル3
組立1号マンホール	3	箇所			Y1101020202レベル4
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300	1	個			TH003064 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	1	個			TH003066 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×600	1	個			TH003068 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×900	1	個			TH003074 00

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 直壁 900×1200	1	個			TH003076 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×1500	1	個			TH003078 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1500	1	個			TH003092 00
円形1号(内径900)1種 管取付け壁 900×2100	2	個			TH012348 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	3	個			TH003096 00
マンホール付属品 調整リング 600×50	1	個			TH003098 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	2	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整金具 調整高25mmまで	1	組			TH003104 00
マンホール付属品 調整金具 調整高45mmまで	2	組			TH003106 00

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下水道用マンホールふた 有効径 600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-25	3	組			TH003182 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径200用	6	箇所			TH003130 00
転落防止はしご 600用	3	個			F0000000058 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	3	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0031 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m超~4m以下	3	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0032 表
底盤コンクリート打設工	0.5	m3			SG1D0603001 00 単第0 -0033 表
組立2号マンホール	1	箇所			Y1101020203レベル4
円形2号(内径1200)1種 斜壁 600×1200×450	1	個			TH011214 00
円形2号(内径1200)1種 直壁 1200×1500	1	個			TH011226 00

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形2号(内径1200)I種 管取付け壁 1200×1800	1	個			TH011242 00
円形2号(内径1200)I種 底板 H=150	1	個			TH011252 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	1	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整金具 調整高25mmまで	1	組			TH003104 00
下水道用マンホールふた 有効径 600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-25	1	組			TH003182 00
マンホール削孔費 2号(1種) 塩ビ管用,径200用	3	箇所			TH003168 00
転落防止はしご 600用	1	個			F0000000058 00
底部工(組立式)(組立2号マンホール)	1	箇所			SG1D0054001 00
組立2号マンホール 2号(内径1200mm) 深さ4m以下	1	箇所			SG1D0054002 00
					単第0 -0034 表
					単第0 -0035 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
底盤コンクリート打設工	0.3	m3			SG1D0603001 00 単第0 -0033 表
内副管	6	箇所			Y1101020208レベル4
内副管取付工	1	箇所			SG1D0051002 00 単第0 -0036 表
内副管取付工	1	箇所			SG1D0051002 00 単第0 -0037 表
内副管取付工	3	箇所			SG1D0051002 00 単第0 -0038 表
内副管取付工	1	箇所			SG1D0051002 00 単第0 -0039 表
内副管材 補助 推進	1	式			V000001200 00 単第0 -0040 表
小型マンホール工	1	式			Y11010203 レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)	6	箇所			Y1101020301レベル4

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm~200mm	6	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0041 表
鋳鉄製マンホール蓋 300 T-25	3	組			F0000000013 00
鋳鉄製マンホール蓋 300 T-14	3	組			F0000000054 00
取付管およびます工	1	式			Y110104 レベル2
管路土工	1	式			Y11010401 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101040101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	250	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001 表
管路埋戻	1	式			Y1101040102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	200	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	37	m3			単第0 -0042 表
発生土処理 現場 仮置場					Y1101040103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	250	m3			単第0 -0005 表
発生土処理 仮置場 処分場					Y1101040103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	19	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	19	m3			単第0 -0008 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 土砂					T9003 00
	19	m3			
埋戻土運搬 仮置場 現場					Y1101040104レベル4
	1	式			

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	230	m3			SPK25040007 00 単第0 -0007 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)	230	m3			SPK25040002 00 単第0 -0009 表
ます設置工	1	式			Y11010402 レベル3
ます(塩化ビニル製)	72	箇所			Y1101040202レベル4
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm	72	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0043 表
異径ソケット 200- 150	1	個			F0000000057 00
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径150mm	3	組			TH011040 00
取付管布設工	1	式			Y11010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	72	箇所			Y1101040302レベル4

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	72	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0044 表
付帯工					Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	1	式			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	1,230	m			SPK25040307 00 単第0 -0045 表
舗装版破碎	1,230	m			Y1101060102 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	545	m2			SPK25040306 00 単第0 -0046 表
殻運搬処理	545	m2			Y1101060105 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	27	m3			SPK25040155 00 単第0 -0047 表
	27	m3			

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	64	t			#0041 T9006 00
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	545	m2			Y1101060402 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	545	m2			SPK25040235 00 単第0 -0048 表
上層路盤(車道・路肩部)	545	m2			Y1101060404 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚120mm 1層施工	545	m2			SPK25040237 00 単第0 -0049 表
表層(車道・路肩部)	545	m2			Y1101060408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	545	m2			SPK25040244 00 単第0 -0050 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路施設(推進工法)(小口径推進)					Y1102 レベル1
	1	式			
管きょ工(小口径推進)					Y110201 レベル2
	1	式			
低耐荷力泥土圧推進工					Y11020110 レベル3
	1	式			
推進用硬質塩化ビニル管 低耐荷力泥土圧					Y1102011001 レベル4
	122.7	m			
SUSカラー付直管(先頭管、標準管) VP 200mm L=1.0m/本					F0000000031 00
	124	本			
SUSカラー付直管(最終管) VP 200mm L=1.0m/本					F0000000059 00
	4	本			
推進工 低耐荷力泥土圧					SG1D0404001 00
	122.7	m			単第0 -0051 表
スクリーコンベヤ類撤去工 低耐荷力泥土圧 呼び径 200～450mm					SG1D0404002 00
	122.7	m			単第0 -0055 表
添加材注入工 低耐荷力泥土圧					SG1D0404003 00
	122.7	m			単第0 -0056 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理					Y1102011002レベル4
	1	式			
汚泥吸排車運転費					V000001000 00
	6	m3			単第0 -0058 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設汚泥処理費					F0000000034 00
	6	m3			
立坑内管布設工					Y11020112 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 【 200】					Y1102011202レベル4
	3.0	m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm					SG1D0006001 00
	3.0	m			単第0 -0059 表
仮設備工(小口径)					Y11020113 レベル3
	1	式			
坑口(小口径)					Y1102011301レベル4
	8	箇所			

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
坑口工 低耐力泥土圧推進	8	箇所			SG1D0098008 00 単第0 -0060 表
鏡切り	8	箇所			Y1102011303レベル4
鏡切り工 低耐力泥土圧推進	8	箇所			SG1D0100010 00 単第0 -0064 表
推進設備等設置撤去	4	箇所			Y1102011304レベル4
推進設備工 低耐力泥土圧	2	箇所			SG1D0101022 00 単第0 -0066 表
推進設備据換工 低耐力泥土圧	2	箇所			SG1D0101023 00 単第0 -0067 表
先導体据付撤去工 低耐力泥土圧	4	箇所			SG1D0101024 00 単第0 -0068 表
推進水替工	1	式			Y11020116 レベル3
推進用水替	1	式			Y1102011601レベル4

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ運転工 排水量 0(m3/h)以上40(m3/h)未満 作業時排水	74	日			SG1D0107001 00 単第0 -0069 表
据付・撤去工	5	現場			SG1D0042002 00 単第0 -0027 表
補助地盤改良工	1	式			Y11020117 レベル3
薬液注入	1	式			Y1102011701レベル4
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4.2m	2	本			S0740 00 M-2128-2坑口(上流側) 単第0 -0070 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4.3m	4	本			S0740 00 M-2128-1坑口(下流側) 単第0 -0071 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4.3m	4	本			S0740 00 M-2128-1坑口(上流側M2115-1-1) 単第0 -0072 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=3.5m	4	本			S0740 00 M-2128-1坑口(上流側M2116-1-1) 単第0 -0073 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4.1m	2	本			S0740 00 M-2115-1-1坑口(下流側) 単第0 -0074 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4.1m	2	本			S0740 00 M-2115-1-1坑口(上流側) 単第0 -0075 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4m	4	本			S0740 00 M-2115-2坑口(下流側) 単第0 -0076 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=3.5m	2	本			S0740 00 M-2116-1-1坑口(下流側) 単第0 -0073 表
注入設備据付・解体工(車上)	1	現場			SG1D0039004 00 単第0 -0077 表
立坑工	1	式			Y110202 レベル2
管路土工	1	式			Y11020201 レベル3
管路埋戻	1	式			Y1102020102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	14	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0042 表
機械投入埋戻工(バックホウ)	8	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理 現場 仮置場	1	式			Y1102020103レベル4
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	49	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0005 表
発生土処理 仮置場 処分場	1	式			Y1102020103レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	41	m3			SPK25040007 00 単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)	41	m3			SPK25040002 00 単第0 -0008 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 土砂	41	m3			T9003 00
埋戻土運搬 仮置場 現場	1	式			Y1102020104レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	9	m3			SPK25040007 00 単第0 -0007 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)	9	m3			SPK25040002 00 単第0 -0009 表
鋼製ケーシング式土留工及び土工	1	式			Y11020204 レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削	19.2	m			Y1102020401 レベル4
圧入掘削積込み工 呼び径 1,500mm 砂質土	9.1	m			SG1D0602001 00 単第0 -0080 表
圧入掘削積込み工 呼び径 2,000mm 砂質土	10.1	m			SG1D0602001 00 単第0 -0083 表
ケーシング溶接工 呼び径 1,500mm	2	箇所			SG1D0602002 00 単第0 -0086 表
ケーシング溶接工 呼び径 2,000mm	2	箇所			SG1D0602002 00 単第0 -0088 表
ケーシング引上げ工 呼び径 1,500mm 引上げ延長	2	箇所			SG1D0602003 00 単第0 -0089 表
ケーシング引上げ工 呼び径 2,000mm 引上げ延長	2	箇所			SG1D0602003 00 単第0 -0091 表

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーシング撤去工 呼び径 1,500mm	1	箇所			SG1D0602004 00 単第0 -0093 表
ケーシング撤去工 呼び径 1,500mm	1	箇所			SG1D0602004 00 単第0 -0096 表
ケーシング撤去工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0602004 00 単第0 -0097 表
ケーシング撤去工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0602004 00 単第0 -0098 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ ヘビーH1	0.6	t			F0000000039 00
底盤コンクリート	4	箇所			Y1102020402レベル4
底盤コンクリート打設工	10	m3			SG1D0603001 00 単第0 -0099 表
圧入掘削設備	4	箇所			Y1102020403レベル4

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械設置撤去工 呼び径 1,500mm	2	回			SG1D0604001 00 単第0 -0100 表
機械設置撤去工 呼び径 2,000mm	2	回			SG1D0604001 00 単第0 -0101 表
鋼製ケーシング存置	16.3	m			Y1102020404レベル4
刃先製作取付費 1500	2	個			F0000000041 00
刃先製作取付費 2000	2	個			F0000000042 00
鋼製ケーシング存置 1500	7.6	m			F0000000043 00
鋼製ケーシング存置 2000	8.7	m			F0000000044 00
仮設ケーシング損料	1	式			Y1102020405レベル4
仮設ケーシング損料 1500	2	本			F0000000045 00

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設ケーシング損料 2000					F0000000046 00
立坑排水	2	本			Y1102020406レベル4
うわ水排水工	4	箇所			SG1D0607001 00
排水運搬処理	4	箇所			単第0 -0102 表 Y1102020407レベル4
スライム処理工	4	箇所			SG1D0608001 00
汚泥吸排車運転費	4	箇所			単第0 -0103 表 V000001000 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	4	m3			単第0 -0058 表 #0041
建設汚泥処理費	4	m3			F0000000034 00
円形覆工板	4	箇所			Y1102020408レベル4

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形覆工板設置工 呼び径 1,500mm	2	箇所			SG1D0609001 00 単第0 -0104 表
円形覆工板撤去工 呼び径 1,500mm	2	箇所			SG1D0609002 00 単第0 -0105 表
円形覆工板開閉工 呼び径 1,500mm	13	回			SG1D0609003 00 単第0 -0106 表
円形覆工板設置工 呼び径 2,000mm	2	箇所			SG1D0609001 00 単第0 -0107 表
円形覆工板撤去工 呼び径 2,000mm	2	箇所			SG1D0609002 00 単第0 -0108 表
円形覆工板開閉工 呼び径 2,000mm	46	回			SG1D0609003 00 単第0 -0109 表
円形覆工板賃料・修理費及び損耗費	1	式			V000001100 00 単第0 -0110 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員 開削					Y1J01012101 レベル4
	354	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	354	人			
交通誘導警備員 推進					Y1J01012101 レベル4
	210	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	210	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
事業損失防止施設費					Z0002
事業損失防止施設費					YZZ02 レベル2
	1	式			
事業損失防止施設費					YZZ02001 レベル3
	1	式			

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
家屋調査費	1	式			YZZ02001001 レベル4
事前調査（建物等の調査） 木造建物A	20	棟			V000001300 00 単第0 -0111 表
役務費					Z0003
役務費	1	式			YZZ03 レベル2
役務費	1	式			YZZ03001 レベル3
借地料 土地の借上げ等に要する費用	1	式			YZZ03001001 レベル4
借地料 47,900 (円/m ²) × 0.06 × 8/12 × 200 (m ²)	1	式			F0000000051 00
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費 開削					YZZ04001004 レベル4
	17.8	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0112 表
仮設材運搬費 推進					YZZ04001004 レベル4
	7.6	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0115 表
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
施工調査費 開削					YZZ06001006 レベル4
	1	式			

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本管テレビカメラ調査 直視側視式 小中口径管	401.5	m			V000000600 00 単第0 -0118 表
施工調査費 推進	1	式			YZZ06001006レベル4
本管テレビカメラ調査 直視側視式 小中口径管	125.6	m			V000000600 00 単第0 -0118 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					

本工事費【補助】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費【単独】					X2000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	63	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001 表
管路埋戻	1	式			Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	41	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表
発生土処理 現場 仮置場	1	式			Y1101010103 レベル4

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	63	m3			単第0 -0005 表
発生土処理 仮置場 処分場					Y1101010103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	18	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	18	m3			単第0 -0008 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 土砂					T9003 00
	18	m3			
埋戻土運搬					Y1101010104レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	45	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)					SPK25040002 00
	45	m3			単第0 -0009 表

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			
リップ付硬質塩化ビニル管 【 200】					Y1101010205 レベル4
	48.8	m			
リップ付硬質塩化ビニル管設置工 管径 200mm					SG1D0700002 00
	48.8	m			単第0 -0010 表
埋設標識テープ					Y1101010216 レベル4
	47.9	m			
埋設標識シート 幅150mm×長50m, シングル 上下水道用					TH011286 00
	1.0	巻			
管基礎工					Y11010103 レベル3
	1	式			
砕石基礎 【RC-40】					Y1101010302 レベル4
	47.9	m			
砕石基礎工(機械施工)					SG1D0020002 00
	14	m3			単第0 -0011 表
管路土留工					Y11010105 レベル3
	1	式			

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板土留					Y1101010503レベル4
	1	式			
軽量鋼矢板建込工(両側分)					SG1D0033001 00
	17.9	m			単第0 -0012 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	17.9	m			単第0 -0013 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)					SG1D0033001 00
	8.5	m			単第0 -0015 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	8.5	m			単第0 -0016 表
軽量鋼矢板損料・修理費及び損耗費 単独					V000000300 00
	1	式			単第0 -0122 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	17.9	m			単第0 -0020 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	17.9	m			単第0 -0021 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	8.5	m			単第0 -0022 表

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	8.5	m			単第0 -0023 表
支保工賃料及び基本料 単独					V000000400 00
	1	式			単第0 -0123 表
開削水替工					Y11010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1101010901 レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	3	日			単第0 -0025 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	2	現場			単第0 -0027 表
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			
組立マンホール工					Y11010202 レベル3
	1	式			
組立1号マンホール					Y1101020202 レベル4
	1	箇所			

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300	1	個			TH003064 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1200	1	個			TH003090 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	1	個			TH003096 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	1	個			TH003102 00
マンホール付属品 調整金具 調整高25mmまで	1	組			TH003104 00
下水道用マンホールふた 有効径 600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-14	1	組			TH003184 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	1	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0028 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	1	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0030 表
小型マンホール工	1	式			Y11010203 レベル3

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール(塩化ビニル製)					Y1101020301 レベル4
	2	箇所			
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm~200mm					SG1D0057001 00
	2	箇所			単第0 -0041 表
鋳鉄製マンホール蓋 300 T-14					F0000000054 00
	2	組			
取付管およびます工					Y110104 レベル2
	1	式			
管路土工					Y11010401 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1101040101 レベル4
	1	式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	8	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1101040102 レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	6	m3			単第0 -0003 表

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	2	m3			単第0 -0042 表
発生土処理 現場 仮置場					Y1101040103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	8	m3			単第0 -0005 表
発生土処理 仮置場 処分場					Y1101040103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	1	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	1	m3			単第0 -0008 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 土砂					T9003 00
	1	m3			
埋戻土運搬					Y1101040104レベル4
	1	式			

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	7	m3			SPK25040007 00 単第0 -0007 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)	7	m3			SPK25040002 00 単第0 -0009 表
ます設置工	1	式			Y11010402 レベル3
ます(塩化ビニル製)	7	箇所			Y1101040202レベル4
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm	7	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0043 表
異径ソケット 200- 150	1	個			F0000000057 00
マンホール用可とう継手 拡張バンドタイプ 塩ビ管径150mm	1	組			TH011040 00
取付管布設工	1	式			Y11010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	7	箇所			Y1101040302レベル4

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設および支管取付工 管径 150mm					SG1D0089002 00
付帯工	7	箇所			単第0 -0124 表
舗装撤去工	1	式			Y110106 レベル2
舗装版切断	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	108	m			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	41	m			SPK25040307 00
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	67	m			単第0 -0045 表
舗装版破碎	45	m2			SPK25040307 00
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	19	m2			単第0 -0125 表
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	26	m2			Y1101060102 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK25040306 00
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					単第0 -0046 表
					SPK25040306 00
					単第0 -0126 表

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬処理					Y1101060105レベル4
	4	m3			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0047 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	3	m3			SPK25040155 00 単第0 -0127 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	2	t			T9006 00
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	6	t			T9005 00
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	19	m2			Y1101060402レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	19	m2			SPK25040235 00 単第0 -0048 表

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部)	45	m2			Y1101060404 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚120mm 1層施工	19	m2			SPK25040237 00 単第0 -0049 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚100mm 1層施工	26	m2			SPK25040237 00 単第0 -0128 表
表層(車道・路肩部)	45	m2			Y1101060408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	45	m2			SPK25040244 00 単第0 -0050 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員 開削	31	人			Y1J01012101 レベル4

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	31	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費 開削					YZZ04001004 レベル4
	5.5	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0129 表
準備費					Z0005
準備費					YZZ05 レベル2
	1	式			

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備費	1	式			YZZ05001 レベル3
試験掘	1	式			YZZ05001001 レベル4
試験掘	1	式			V000000500 00 単第0 -0132 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	1	t			T9006 00
投棄料 土砂	0.8	m3			T9003 00
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
施工調査費 開削	1	式			YZZ06001006レベル4
本管テレビカメラ調査 直視側視式 小中口径管	48.8	m			V000000600 00 単第0 -0118 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....

本工事費【単独】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0053

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0006 表

1

日 当り

4t積級

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	32.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=32 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK25040007

単第0 -0007 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 42.39%

労務構成比:

38.74%

材料構成比:

18.87%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

240.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	42.39%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	38.74%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.87%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0008 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

758.59000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0009 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

953.24000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=5 距離1.0km以下(0.2km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0012 表

頁0 -0062

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	11.6	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0013 表

頁0 -0063

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0014 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 BH山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0015 表

頁0 -0065

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	7.2	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	12.5	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0016 表

頁0 -0066

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.5	時間			単第0-0014 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 BH山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0017 表

頁0 -0067

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.8	人			
特殊作業員	2.8	人			
普通作業員	8.4	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	13.4	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=4 掘削深	3.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0018 表

頁0 -0068

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	3.0	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.9	時間			単第0-0014 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 BH山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=4 掘削深	3.0m以下	

施工単価表

支保工賃料及び基本料
補助

V000000200

単第0 -0024 表

頁0 -0074

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ製腹起し賃料 補助 1段	1	式			
水圧式サポート賃料 補助 1段	1	式			
水圧ポンプ賃料 補助 1段	1	式			
支保材基本料 補助 1段	1	式			
アルミ製腹起し賃料 補助 2段	1	式			
水圧式サポート賃料 補助 2段	1	式			
水圧ポンプ賃料 補助 2段	1	式			
支保材基本料 補助 2段	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0025 表

頁0 -0075

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0026 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=1 ポンプ1台			B=2 D=1	発動発電機 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m	

施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0029 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68%

材料構成比: 71.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0042 表

頁0 -0092

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	133.000	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=133 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0045 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0046 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 12.85%

労務構成比:

81.24%

材料構成比:

5.91%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 44.05% 労務構成比: 39.87%

SPK25040155

DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)

材料構成比: 16.08%

単第0 -0047 表

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り

2,923.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=26 運搬距離6.0km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0099

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0048 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0048 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72% 労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 40~0mm	74.21%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0049 表

RM-40

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0049 表

RM-40

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比: 37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 40~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00009 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 H=1 RM-40 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0103

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0050 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0050 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

推進工
低耐力泥土圧

SG1D0404001

単第0 -0051 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
滑材 硬質塩化ビニル管用	123.000	L			8.2*15
機-18_トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	1.0	日			単第0-0052 表
推進工機械器具損料(1)	1	日			単第0-0053 表
推進工機械器具損料(2)	1	日			単第0-0054 表
諸雑費	20	%			#09
1m当り(計/推進日進量)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 土質(N値) N 15 C=27 【F】滑材(L) E=29 【F】推進器具類損料(固定部)(式)			B=1 呼び径 200mm D=28 【F】推進機等損料(日) F=30 【F】推進器具類損料(変動部)(m)		
G=30.67 1推進区間の推進延長(m)					

施工単価表

坑口工
低耐荷力泥土圧推進

SG1D0098008

単第0 -0060 表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.2	人			
溶接工	0.2	人			
普通作業員	0.2	人			
止水器 呼び径200用	1	組			
鋼材溶接工	1.9	m			単第0-0061 表
鋼材切断工	3.8	m			単第0-0062 表
機-18_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4~4.5t積_吊能力2.9t	0.2	日			単第0-0063 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 C=36 呼び径 200mm 【F】電力料(kWh)			B=35	【F】止水器(組)	

施工単価表

鋼材溶接工

SG1E0098001

単第0 -0061 表

頁0 -0115

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.010	人			
溶接工	0.076	人			
普通作業員	0.021	人			
電力料	2.7	kWh			
被覆アーク溶接棒 高張力鋼用(JISZ3211)E4916 棒径5.0mm	0.4	kg			
電気溶接機 交流アーク式(手動・電撃防止器内蔵型) 定格電流250A	0.076	日			
諸雑費	30	%			#09
*** 単位当たり ***	1	m			
A=36 電力料【登録単価CODE】(kWh)					

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長=4 . 2m

M-2128-2坑口(上流側)

単第0 -0070 表

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.082	人			1*0.0819
特殊作業員	0.246	人			3*0.0819
普通作業員	0.164	人			2*0.0819
地盤改良用薬液 溶解型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.164	日			2*0.0819
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.164	日			2*0.0819
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=4.2 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=21 削孔時間 (T2)(分)		
G=2.8 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=37 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長=4 . 3m

M-2128-1坑口(下流側)

単第0 -0071 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.083	人			1*0.083
特殊作業員	0.249	人			3*0.083
普通作業員	0.166	人			2*0.083
地盤改良用薬液 溶解型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.166	日			2*0.083
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.166	日			2*0.083
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=4.3 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=21.4 削孔時間 (T2)(分)		
G=3 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=37 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長=4.3m

単第0 -0072 表
M-2128-1坑口(上流側M2115-1-1)

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.083	人			1*0.0829
特殊作業員	0.249	人			3*0.0829
普通作業員	0.166	人			2*0.0829
地盤改良用薬液 溶解型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.166	日			2*0.0829
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.166	日			2*0.0829
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=4.3 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=21.3 削孔時間 (T2)(分)		
G=3 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=37 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長= 3 . 5 m

単第0 -0073 表
M-2128-1坑口 (上流側M2116-1-1)

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.076	人			1*0.0757
特殊作業員	0.227	人			3*0.0757
普通作業員	0.152	人			2*0.0757
地盤改良用薬液 溶解型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.152	日			2*0.0757
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.152	日			2*0.0757
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=3.5 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=17.5 削孔時間 (T2)(分)		
G=2.2 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=37 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長=4 . 1m

M-2115-1-1坑口(下流側)

単第0 -0074 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.082	人			1*0.0815
特殊作業員	0.245	人			3*0.0815
普通作業員	0.163	人			2*0.0815
地盤改良用薬液 溶解型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.163	日			2*0.0815
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.163	日			2*0.0815
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=4.1 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=20.7 削孔時間 (T2)(分)		
G=2.8 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=37 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長=4 . 1m

M-2115-1-1坑口(上流側)

単第0 -0075 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.081	人			1*0.0813
特殊作業員	0.244	人			3*0.0813
普通作業員	0.163	人			2*0.0813
地盤改良用薬液 溶解型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.163	日			2*0.0813
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.163	日			2*0.0813
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=4.1 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量 (Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=20.5 削孔時間 (T2)(分)		
G=2.8 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=37 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式 (2セット)

S0740
総削孔長= 4 m

M-2115-2坑口(下流側)

単第0 -0076 表

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.081	人			1*0.0805
特殊作業員	0.242	人			3*0.0805
普通作業員	0.161	人			2*0.0805
地盤改良用薬液 溶解型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.161	日			2*0.0805
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.161	日			2*0.0805
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式 (2セット) C=4 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量 (Qs)(L/本) G=2.7 土被り長 (L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=20.1 削孔時間 (T2)(分) H=37 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

注入設備据付・解体工(車上)

SG1D0039004

単第0 -0077 表

頁0 -0131

1 現場 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.6	人			
普通作業員	3.7	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4~4.5t積_吊能力2.9t	14.5	時間			単第0-0078 表
トラック 普通型 4~4.5t積	3.000	日			2*1.5 供用日の割増率
諸雑費	1	式			
トラック損料(注入時)	3.001	日			単第0-0079 表
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=8.212 総注入量(kL) C=12 1日当り施工本数(本)			B=0.342 1本当り注入量(kL/本) D=1.5 供用日の割増率		

施工単価表

圧入掘削積込み工
呼び径 1,500mm

SG1D0602001

単第0 -0080 表

1 m 当り

砂質土

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.150	人			
特殊作業員	0.150	人			
普通作業員	0.300	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,500mm	0.9	時間			単第0-0081 表
機-01_ドラグライン及びクラムシェル運転 061_油圧クラムシェル テレスコピック バケット容量(平積0.15~0.2m3)	0.474	時間			単第0-0082 表 0.9/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.150	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 砂質土 C=1 呼び径 1,500mm E=38 【F】圧入機損料(時間)			B=3 適用範囲 N 30 D=1 揺動圧入機 F=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

圧入掘削積込み工
呼び径 2,000mm

SG1D0602001

単第0 -0083 表

1 m 当り

砂質土

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.150	人			
特殊作業員	0.150	人			
普通作業員	0.300	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	0.9	時間			単第0-0084 表
機-01_ドラグライン及びクラムシェル運転 061_油圧クラムシェル テレスコピック バケット容量(平積0.6m3)	0.474	時間			単第0-0085 表 0.9/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.150	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 砂質土 C=3 呼び径 2,000mm E=38 【F】圧入機損料(時間)			B=3 適用範囲 N 30 D=1 揺動圧入機 F=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング引上げ工
呼び径 1,500mm

SG1E0602002

単第0 -0090 表

揺動圧入機

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.62	人			
特殊作業員	0.62	人			
普通作業員	1.24	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,500mm	5.0	時間			単第0-0081 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.62	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/10m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 呼び径 1,500mm C=38 【F】圧入機損料(時間)			B=1 揺動圧入機 D=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング引上げ工
呼び径 2,000mm

SG1E0602002

単第0 -0092 表

揺動圧入機

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.62	人			
特殊作業員	0.62	人			
普通作業員	1.24	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	5.0	時間			単第0-0084 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.62	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/10m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 2,000mm C=38 【F】圧入機損料(時間)			B=1 揺動圧入機 D=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング撤去工
呼び径 1,500mm

SG1D0602004

単第0 -0093 表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0094 表
ケーシング切断工	10.208	m			単第0-0095 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 1,500mm			B=1.374	ケーシング撤去長(m)	

施工単価表

ケーシング撤去工
呼び径 1,500mm

SG1D0602004

単第0 -0096 表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0094 表
ケーシング切断工	10.424	m			単第0-0095 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 1,500mm			B=1.428	ケーシング撤去長(m)	

施工単価表

ケーシング撤去工
呼び径 2,000mm

SG1D0602004

単第0 -0097 表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0094 表
ケーシング切断工	12.203	m			単第0-0095 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 呼び径 2,000mm			B=1.48	ケーシング撤去長(m)	

施工単価表

ケーシング撤去工
呼び径 2,000mm

SG1D0602004

単第0 -0098 表

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0094 表
ケーシング切断工	12.011	m			単第0-0095 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 呼び径 2,000mm			B=1.432	ケーシング撤去長(m)	

施工単価表

底盤コンクリート打設工

SG1D0603001

単第0 -0099 表

頁0 -0153

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.26	人			
特殊作業員	0.26	人			
普通作業員	0.52	人			
水中コンクリート 30-18-20N	10.4	m3			
諸雑費	2	%			#09
1m3当り					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 地下水位以下等の場合 C=1 -			B=40		水中コンクリート【登C】(m3)

施工単価表

機械設置撤去工
呼び径 1,500mm

SG1D0604001

単第0 -0100 表

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.17	人			
特殊作業員	0.17	人			
普通作業員	0.34	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,500mm	1.4	時間			単第0-0081 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.17	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 呼び径 1,500mm C=38 【F】圧入機損料(時間)			B=1 揺動圧入機 D=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

機械設置撤去工
呼び径 2,000mm

SG1D0604001

単第0 -0101 表

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.17	人			
特殊作業員	0.17	人			
普通作業員	0.34	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	1.4	時間			単第0-0084 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.17	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=3 呼び径 2,000mm C=38 【F】圧入機損料(時間)			B=1 揺動圧入機 D=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

支保工賃料及び基本料
単独

V000000400

単第0 -0123 表

頁0 -0177

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ製腹起し賃料 単独 1段	1	式			
水圧式サポート賃料 単独 1段	1	式			
水圧ポンプ賃料 単独 1段	1	式			
支保材基本料 単独 1段	1	式			
アルミ製腹起し賃料 単独 2段	1	式			
水圧式サポート賃料 単独 2段	1	式			
水圧ポンプ賃料 単独 2段	1	式			
支保材基本料 単独 2段	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0125 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 13.11%

労務構成比:

50.94%

材料構成比: 35.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,264.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	8.92%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0126 表

コンクリート舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 12.85%

労務構成比:

81.24%

材料構成比:

5.91%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 F=1 コンクリート舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0127 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,527.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0128 表

RM-40

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0128 表

RM-40

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比: 37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 40~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00009 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 H=1 RM-40 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

試験掘

V000000500

単第0 -0132 表

頁0 -0188

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	28	m			単第0-0045 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	13	m2			単第0-0046 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	0.6	m3			単第0-0047 表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	18	m3			単第0-0133 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	16	m3			単第0-0134 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)	0.8	m3			単第0-0135 表
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	13	m2			単第0-0048 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-40 全仕上り厚120mm 1層施工	13	m2			単第0-0049 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	13	m2			単第0-0050 表
*** 単位当り ***	1	式			

施工単価表

掘削

SPK25040001

単第0 -0133 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 26.01% 労務構成比:

62.89%

材料構成比: 11.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,241.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0134 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

労務構成比:

87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,063.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0135 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,525.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=14 距離3.0km以下(2.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

開削工法
数量計算書(補助)
【6工区】

1.管 布 設 工

[補助] 市道(車道部) 塩ビ管管布設工 (No.1) ()工事
 管径 φ = 200 mm
 表層舗装厚 = 0.05 m As-5-10-10 掘削機種 = 0.20 m³BH
 路盤舗装厚 = 0.20 m (上下路盤) 掘削幅 = 0.95 m 【土留め】

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長		掘削		基礎延長 m	管体延長 m	掘削土量 0.20 m ³	発生土埋戻し 0.20 m ³	購入土埋戻し 3BH m ³	砕石基礎工 人力 m ³	キャップ φ200 個	継可とう 手製 φ200 個	曲管						
			1号-1	2号-2	下流側 塩ビ-3 m	掘削深 平均 m									BH	BH	BH	φ200	φ200	φ200	φ200
			塩ビ-3	塩ビ-3																	
2111	M-2111-1		1	0.45	2.50	2.31															
	M-2111-2	46.00	1	0.45	2.21	2.36	44.95	45.10	100.9	74.7		15.7		2							
2111	M-2111-2		1	0.45	2.58	2.50															
	M-2115-1	48.00	1	0.45	2.52	2.55	46.95	47.10	114.0	86.6		16.4		2							
2111	M-2115-1		1	0.45	2.60	2.55															
	M-2115-2	24.00	1	0.45	2.60	2.60	22.95	23.10	58.1	44.4		8.0		2							
S2115	M-S2115-1		1	0.45	2.02	1.97															
	M-2115-1-1	60.00	3	0.30	2.01	2.02	59.18	59.25	112.3	78.1		20.6		1							
S2115-1	M-2115-1-1		2	0.60	1.97	1.87															
	M-2128-1	41.50	1	0.45	1.86	1.92	40.28	40.45	73.7	50.0		14.0		2							
2100	M-2100-1		3	0.20	1.75	1.68															
	M-2100-2	24.10			1.71	1.73	23.90	23.90	38.5	24.8		8.3									
2100	M-2100-2		1	0.45	1.78	1.72															
	M-2102-1	42.00	3	0.30	1.75	1.77	41.18	41.25	68.6	44.7		14.4		1							
2102	M-2102-1		1	0.45	1.82	1.76															
	M-2104-1	22.00	1	0.45	1.80	1.81	20.95	21.10	36.8	24.3		7.3		2							
2104	M-2104-1		3	0.20	1.94	1.84															
	M-2104-2	33.00	1	0.45	1.84	1.89	32.28	32.35	57.7	38.9		11.3		1							
2104	M-2104-2		3	0.20	1.99	1.92															
	M-2104-3	9.00	3	0.30	1.94	1.97	8.50	8.50	16.4	11.3		3.0									
2104	M-2104-3		1	0.45	2.19	2.04															
	M-2106-1-1	12.00	3	0.30	1.99	2.09	11.18	11.25	23.3	16.5		3.9		1							
計		361.60					352.30	353.35	700.3	494.3		122.9		14							

リブ付硬質塩化ビニル管設置工		L =		353.35 m	
土 工	掘削	機械掘削工	バックホ- 0.20 m ³		小数1位→ 700.3 m ³
	埋戻	発生土	※埋め戻しは、舗装路盤下まで		小数1位→ 494.3 m ³
		購入土	V =		小数1位→ m ³
	残土	砕石基礎工	V = { (0.400 × 0.95) - π/4 × 0.200 ^2 } × 352.30		小数1位→ 122.9 m ³
V = 700.3 - (494.3 / 0.90)		小数1位→ 151.1 m ³			
		管径 = 0.200 m			
		砂基礎高さ = 0.400 m			

[補助]

塩ビ管管布設土留め工(No.1)

()工事

掘削機種= 0.20 m³BH
掘削幅= 0.95 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	掘削深 m	平均掘削深 m	軽量鋼矢板建て込み工(W=250mm)						軽量鋼矢板打ち込み工(W=333mm)					
					m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
					L-1.50	L-2.00	L-2.50	L-2.50	L-3.00	L-3.50	L-1.50	L-2.00	L-2.50	L-3.00	L-3.50	L-4.00
					1段支保			2段支保								
					m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	
2111	2111-1		2.50													
	2111-2	46.00	2.21	2.36					46.00							
2111	2111-2		2.58													
	2115-1	48.00	2.52	2.55					48.00							
2111	2115-1		2.60													
	2115-2	24.00	2.60	2.60					24.00							
S2115	S2115-1		2.02													
	2115-1-1	60.00	2.01	2.02				60.00								
S2115-1	2115-1-1		1.97													
	2128-1	41.50	1.86	1.92			41.50									
2100	2100-1		1.75													
	2100-2	24.10	1.71	1.73			24.10									
2100	2100-2		1.78													
	2102-1	42.00	1.75	1.77			42.00									
2102	2102-1		1.82													
	2104-1	22.00	1.80	1.81			22.00									
2104	2104-1		1.94													
	2104-2	33.00	1.84	1.89			33.00									
2104	2104-2		1.99													
	2104-3	9.00	1.94	1.97			9.00									
2104	2104-3		2.19													
	2106-1-1	12.00	1.99	2.09			12.00									
計		361.60					66.10	105.50	72.00	118.00						

支保工

1段支保工 = 171.60 m

2段支保工 = 190.00 m

[補助]

市道(車道部)

塩ビ管管布設工 (No.2)

()工事

管径 φ = 200 mm
 表層舗装厚 = 0.05 m As-5-10-10
 路盤舗装厚 = 0.20 m (上下路盤)

掘削機種 = 0.20 m³
 掘削底面幅 = 0.60 m

【素掘り】

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m		掘削 m		基礎延長 m	管体延長 m	掘削土量 m ³	発生土埋戻し量 m ³	購入土埋戻し量 m ³	キャップ 個	継可とう手製 個	曲管						
			1号-1	2号-2	下流側 上流側	掘削深 平均								BH 0.20 m ³	BH 0.20 m ³	BH 0.20 m ³	5° φ200	11° φ200	22° φ200	15° φ200
			塩ビ-3	塩ビ-3																
S2128-1	M-S2128-1		3	0.20	1.30	1.23														
	M-S2128-2	16.63	3	0.30	1.26	1.28	15.32	16.13	W1=0.846 14.8	W2=0.806 h=0.630 7.8										
S2128-2	M-S2128-2		2	0.60	1.38	1.29														
	M-2128-1-1	32.96	3	0.30	1.30	1.34	31.96	32.06	W1=0.858 31.0	W2=0.818 h=0.690 17.0			1							
計		49.59					47.28	48.19	45.8	24.8			1							

リブ付硬質塩化ビニル管設置工

L = 48.19 m

土 工	掘削	機械掘削工	ハックホー 0.20 m ³			小数1位→	45.8 m ³	掘削上幅 W1 埋戻し幅 W2 砕石基礎上幅 = 0.680 m 砕石基礎下幅 = 0.600 m 管径 = 0.200 m 砕石基礎高さ = 0.400 m
	埋	発生土	※埋め戻しは、舗装路盤下まで			小数1位→	24.8 m ³	
		購入土	V =			小数1位→	m ³	
	戻	砕石基礎工	V = { 0.600 + 0.680 } / 2 × 0.400			小数1位→	10.6 m ³	
			- π / 4 × 0.200 ²) × 47.28			小数1位→	18.2 m ³	
残土	V = 45.8 - (24.8 / 0.90)			小数1位→	18.2 m ³			

2.マンホール工

3.取付管工

[補 助]		取 付 管 工 (No.1)										() 工 事								
舗装表層厚 = 5 cm As-5-10-10		市道(車道)		本管掘削幅 = 0.95 m																
舗装層厚 = 10 cm		舗装切断		幅 = 0.48 m						管径φ 150 mm										
舗上路層厚 = 10 cm																				
路 線 名	樹 設 置 箇 所	取 付 管 延 長		本管土被		a	b	掘 削 延 長		a × b × c	ソ 異 ケ ッ ト 形	塩 ビ 接 続	可 と う 継 手	取 付 樹			蓋		人 孔 番 号	
		箇所 × m =	小計	下流 上流 平均	平均	m	m	m	m	m				m ³	H ≤ 1.5	1.5 < H	キャップ	塩ビ 製蓋 T-2		防護 蓋 T-8
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
2111	右	5	5 × 6.80	34.00	2.20		1.43	0.69	34.00 - 0.48 × 5	31.6	30.1				5			5	M- 2111-1	
	左	4	4 × 3.70	14.80	1.91	2.06	1.38	0.69	14.80 - 0.48 × 4	12.9	12.3				4			4	M- 2111-2	
2111	右	4	4 × 6.90	27.60	2.28		1.53	0.7	27.60 - 0.48 × 4	25.7	26.5				4			4	M- 2111-2	
	左	5	5 × 4.50	22.50	2.22	2.25	1.48	0.7	22.50 - 0.48 × 5	20.1	20.8				5			5	M- 2115-1	
2115	右	2	2 × 7.50	15.00	2.30		1.55	0.7	15.00 - 0.48 × 2	14.0	14.7				2			2	M- 2115-1	
	左	2	2 × 4.40	8.80	2.30	2.30	1.50	0.7	8.80 - 0.48 × 2	7.8	8.2			1	2			2	M- 2115-2	
S2128-1	右	3	3 × 3.90	11.70	1.00		0.89	0.63	11.70 - 0.48 × 3	10.3	5.5			1	3			3	M- S2128-1	
	左	2	2 × 1.90	3.80	0.96	0.98	0.89	0.63	3.80 - 0.48 × 2	2.8	1.5				2			2	M- S2128-2	
S2128-2	右	3	3 × 3.50	10.50	1.08		0.92	0.64	10.50 - 0.48 × 3	9.1	5.1				3			3	M- S2128-2	
	左	3	3 × 2.10	6.30	1.00	1.04	0.92	0.64	6.30 - 0.48 × 3	4.9	2.7				3			3	M- 2128-1-1	
S2115	右	6	6 × 7.30	43.80	1.72		1.26	0.67	43.80 - 0.48 × 6	40.9	33.2				6			6	M- S2115-1	
	左	7	7 × 3.90	27.30	1.71	1.72	1.21	0.67	27.30 - 0.48 × 7	23.9	19.4	1	1		7			7	M- 2115-1-1	
S2115-1	右	5	5 × 6.70	33.50	1.67		1.21	0.67	33.50 - 0.48 × 5	31.1	24.2			1	5			5	M- 2115-1-1	
	左	4	4 × 4.40	17.60	1.56	1.62	1.21	0.67	17.60 - 0.48 × 4	15.7	12.2				4			4	M- 2128-1	
2100	右	3	3 × 3.50	10.50	1.45		1.12	0.66	10.50 - 0.48 × 3	9.1	6.4				3			3	M- 2100-1	
	左	3	3 × 2.50	7.50	1.41	1.43	1.12	0.66	7.50 - 0.48 × 3	6.1	4.3				3			3	M- 2100-2	
2100	右	3	3 × 2.50	7.50	1.48		1.14	0.66	7.50 - 0.48 × 3	6.1	4.4				3			3	M- 2100-2	
	左	2	2 × 3.00	6.00	1.45	1.47	1.14	0.66	6.00 - 0.48 × 2	5.0	3.6				2			2	M- 2102-1	
2102	右				1.52														M- 2102-1	
	左	1	1 × 2.50	2.50	1.50	1.51	1.16	0.66	2.50 - 0.48 × 1	2.0	1.5				1			1	M- 2104-1	
2104	右	1	1 × 3.00	3.00	1.64		1.20	0.66	3.00 - 0.48 × 1	2.5	1.9				1			1	M- 2104-1	
	左	1	1 × 2.50	2.50	1.54	1.59	1.20	0.66	2.50 - 0.48 × 1	2.0	1.5				1			1	M- 2104-2	
2104	右	1	1 × 3.00	3.00	1.69		1.24	0.67	3.00 - 0.48 × 1	2.5	2.0				1			1	M- 2104-2	
	左				1.64	1.67	1.19												M- 2104-3	
2104	右	1	1 × 2.50	2.50	1.89		1.30	0.67	2.50 - 0.48 × 1	2.0	1.7				1			1	M- 2104-3	
	左	1	1 × 2.50	2.50	1.69	1.79	1.30	0.67	2.50 - 0.48 × 1	2.0	1.7				1			1	M- 2106-1-1	
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
計		72		324.70						290.1	245.4	ケ 1	ケ 1	ケ 3	ケ 72	ケ 72	ケ 72	ケ 72		
掘 削	バックホー		0.20m ³						245.4 m ³		埋戻し (発生土)		245.4 - (0.550 + 0.600) / 2 × 0.25 × 290.1						203.7 m ³	
残 土			245.4 - (203.7 / 0.9) = 19.07				19.1 m ³		砂基礎				[(0.550 + 0.600) / 2 × 0.250 - 0.15 × π / 4] × 290.1						36.6 m ³	
取付管布設および 支管取付工	L<3.0m										樹設置工		樹深 H ≤ 1.5m						72 箇所	
平均L=4.51 m	3.0m ≤ L < 5.0m						72 箇所						樹深 1.5 < H						箇所	
	5.0m ≤ L < 12.0m												キャップ						箇所	

4.付帯工

[補助]

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

()工事

市道(車道)
アスファルト(機械)

路線名	人孔番号	人孔管延長(m)	舗装切断工		路盤工		表層工	
			t = 0.05 m	m	t = 0.20 m	m ²	A=舗装幅員×延長	m ²
2111	M-2111-1 ~ M-2111-2	46.00	2 × 46.00	92.00	0.95 × 46.00	43.7		43.7
2111	M-2111-2 ~ M-2115-1	48.00	2 × 48.00	96.00	0.95 × 48.00	45.6		45.6
2115	M-2115-1 ~ M-2115-2	24.00	2 × 24.00	48.00	0.95 × 24.00	22.8		22.8
S2128-1	M-S2128-1 ~ M-S2128-2	16.63	2 × 16.63	33.26	0.80 × 16.63	13.3		13.3
S2128-2	M-S2128-2 ~ M-2128-1-1	32.96	2 × 32.96	65.92	0.81 × 32.96	26.7		26.7
S2115	M-S2115-1 ~ M-2115-1-1	60.00	2 × 60.00	120.00	0.95 × 60.00	57.0		57.0
S2115-1	M-2115-1-1 ~ M-2128-1	41.50	2 × 41.50	83.00	0.95 × 41.50	39.4		39.4
2100	M-2100-1+17.90m ~ M-2100-2	24.10	2 × 24.10	48.20	0.95 × 24.10	22.9		22.9
2100	M-2100-2 ~ M-2102-1	42.00	2 × 42.00	84.00	0.95 × 42.00	39.9		39.9
2102	M-2102-1 ~ M-2104-1	22.00	2 × 22.00	44.00	0.95 × 22.00	20.9		20.9
2104	M-2104-1 ~ M-2104-2	33.00	2 × 33.00	66.00	0.95 × 33.00	31.4		31.4
2104	M-2104-2 ~ M-2104-3	9.00	2 × 9.00	18.00	0.95 × 9.00	8.6		8.6
2104	M-2104-3 ~ M-2106-1-1	12.00	2 × 12.00	24.00	0.95 × 12.00	11.4		11.4
計		411.19		822.38		383.6		383.6
既設舗装取壊し(BH 0.45)			383.6 m ²		仮舗装取壊し(BH 0.45)		m ²	
既設舗装取壊し(人力)			m ²		仮舗装取壊し(人力)		m ²	
							$b < 1.4 = m^2$ $1.4 \leq b \leq 3.0 = m^2$ $3.0 < b = m^2$ (b=施工幅)	
舗装殻処分工 =			383.6 × 0.05 =		19.2		舗装殻処分工 19.2 m ³	
仮舗装殻処分工 =			×		=			

竹原市

[補助]

取付管付帯工(No.1)

()工事

舗装表層厚 = 5 cm 市道(車道)
 上層路盤厚 = 10 cm 機械
 下層路盤厚 = 10 cm

路線名	樹設置		舗装切断工		路盤工		表層工		人孔番号
	箇所		列 × m × 箇所	m	m × 掘削幅 × 箇所	m ²	(掘削幅+影響幅) × m	m ²	
	右		×						M-
	左		×						M-
	右		×						M-
	左		×						M-
2111	右	5	2 × 4.83 × 5	48.30	4.83 × 0.83 × 5	20.0		20.0	M- 2111-1
	左	4	2 × 2.73 × 4	21.84	2.73 × 0.83 × 4	9.1		9.1	M- 2111-2
2111	右	4	2 × 4.83 × 4	38.64	4.83 × 0.85 × 4	16.4		16.4	M- 2111-2
	左	5	2 × 2.73 × 5	27.30	2.73 × 0.85 × 5	11.6		11.6	M- 2115-1
2115	右	2	2 × 4.83 × 2	19.32	4.83 × 0.85 × 2	8.2		8.2	M- 2115-1
	左	2	2 × 2.73 × 2	10.92	2.73 × 0.85 × 2	4.6		4.6	M- 2115-2
S2128-1	右	3	2 × 2.24 × 3	13.44	2.24 × 0.72 × 3	4.8		4.8	M- S2128-1
	左	2	2 × 0.40 × 2	1.60	0.40 × 0.72 × 2	0.6		0.6	M- S2128-2
S2128-2	右	3	2 × 2.23 × 3	13.38	2.23 × 0.72 × 3	4.8		4.8	M- S2128-2
	左	3	2 × 0.39 × 3	2.34	0.39 × 0.72 × 3	0.8		0.8	M- 2128-1-1
S2115	右	6	2 × 5.53 × 6	66.36	5.53 × 0.79 × 6	26.2		26.2	M- S2115-1
	左	7	2 × 2.13 × 7	29.82	2.13 × 0.79 × 7	11.8		11.8	M- 2115-1-1
S2115-1	右	5	2 × 4.95 × 5	49.50	4.95 × 0.78 × 5	19.3		19.3	M- 2115-1-1
	左	4	2 × 2.73 × 4	21.84	2.73 × 0.78 × 4	8.5		8.5	M- 2128-1
2100	右	3	2 × 1.66 × 3	9.96	1.66 × 0.76 × 3	3.8		3.8	M- 2100-1
	左	3	2 × 0.77 × 3	4.62	0.77 × 0.76 × 3	1.8		1.8	M- 2100-2
2100	右	3	2 × 0.96 × 3	5.76	0.96 × 0.77 × 3	2.2		2.2	M- 2100-2
	左	2	2 × 1.27 × 2	5.08	1.27 × 0.77 × 2	2.0		2.0	M- 2102-1
2102	右		2 × ×		× 0.77 ×				M- 2102-1
	左	1	2 × 0.92 × 1	1.84	0.92 × 0.77 × 1	0.7		0.7	M- 2104-1
2104	右	1	2 × 1.28 × 1	2.56	1.28 × 0.78 × 1	1.0		1.0	M- 2104-1
	左	1	2 × 0.92 × 1	1.84	0.92 × 0.78 × 1	0.7		0.7	M- 2104-2
2104	右	1	2 × 1.28 × 1	2.56	1.28 × 0.79 × 1	1.0		1.0	M- 2104-2
	左		2 × ×		× 0.79 ×				M- 2104-3
2104	右	1	2 × 1.28 × 1	2.56	1.28 × 0.80 × 1	1.0		1.0	M- 2104-3
	左	1	2 × 0.92 × 1	1.84	0.92 × 0.80 × 1	0.7		0.7	M- 2106-1-1
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
計				403.22		161.6		161.6	
舗装殻処分工		仮舗装		×		m ³			
		本舗装				m ³			
		161.6		×		0.05		8.08	
						舗装殻処分工		8.08 m ³	

5.工程表

鋼材運搬算定表

(補助)

	仮設リース材		備考
	往路(t)	復路(t)	
軽量鋼矢板(l=2.0)	3.666	3.666	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=2.5)	5.240	5.240	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=3.0)	7.363	7.363	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=3.5)			軽量鋼矢板 損料計算書
軽量金属支保(1段支保)	0.527	0.527	軽量金属支保 損料算定
軽量金属支保(2段支保)	1.053	1.053	軽量金属支保 損料算定
計	17.849	17.849	
合計	往復路計 17.8 t		

工程表（軽量鋼矢板）

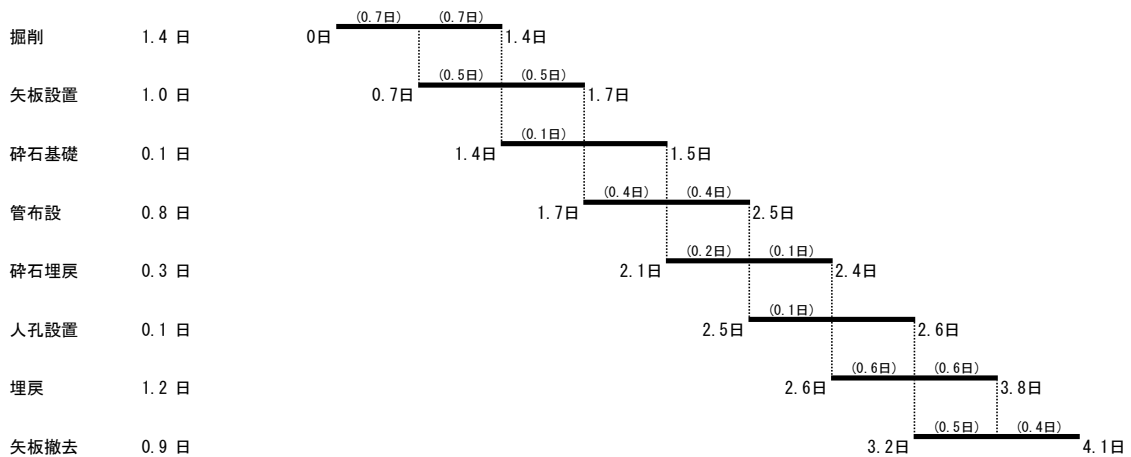
◎矢板の種類	軽量鋼矢板（10.4kg/m）	◎矢板長	L=2.0m B=0.25m		
◎転用回数	3回	◎不稼働率	1.70	◎水替路線延長	L=66.10m
◎人孔全体数	2基	◎17' ロック延長	L=22.03m	◎転用回数（水替路線）	3回
	塩ビ人孔				
	組立0号				
	組立1号				
	1基	◎17' ロック重量	3.666 t		

◎算出諸元

水替有無	路線番号	人孔（基）		路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削幅 (m)	掘削工（m3）			砕石基礎 (m3)		埋戻工（m3）			備考
		塩ビ製	組立1号				BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3	砕石基礎 (m3)	砕石埋戻 (m3)	BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3	
有り	布設No.1	1	1	66.10	65.15	0.95			107.1		6.2	16.5		69.5	補助
	計	1	1	66.10	65.15				107.1		6.2	16.5		69.5	

		全体数量	1回当り数量 全体/転用回数	日当り施工量	実働日数	供用日数
・掘削	BH0.10m3	m3	m3	32 m3 下歩掛P.14	日 =	日
	BH0.20m3	107.1 m3	35.7 m3	43 m3 下歩掛P.14	0.83 日 =	1.4 日
	BH0.35m3	m3	m3	60 m3 下歩掛P.14	日 =	日
・矢板設置		66.10 m	22.03 m	39.3 m 下歩掛P.37	0.56 日 =	1.0 日
				33 m3	0.06 日 =	0.1 日
・砕石基礎		6.2 m3	2.1 m3	下歩掛P.18	0.48 日 =	0.8 日
・管布設		65.15 m	21.72 m	45.5 m 下歩掛P.26		
・砕石埋戻		16.5 m3	5.5 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.17 日 =	0.3 日
				25 基	0.01 日 =	日
・人孔設置	塩ビ人孔	1 基	0.3 基	下歩掛（参）P.14	日 =	日
	組立0号	基	基	5 基	日 =	日
	組立1号	1 基	0.3 基	下歩掛（参）P.12	0.08 日 =	0.1 日
・埋戻	BH0.10m3	m3	m3	33 m3	日 =	日
	BH0.20m3	69.5 m3	23.2 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.70 日 =	1.2 日
	BH0.35m3	m3	m3	33 m3	日 =	日
・矢板撤去		66.10 m	22.03 m	43.5 m 下歩掛P.37	0.51 日 =	0.9 日

【工程表】



補助延長=66.10	単独延長=				補助	単独
全体工期	4.1日 × 3回	=	12.3日	=	13日	13日
矢板賃料日数	{1.0日/2+ (3.2日-1.7日)+0.9日/2} × 3回+5+4	=	16.4日	=	17日	17日
水替	{(3.2日-0.7日) × 3回}/1.70	=	4.4日	=	5日	5日
交通整理員	12.3日 × 3人	=	36.9人	=	37人	37人

工程表（軽量鋼矢板）

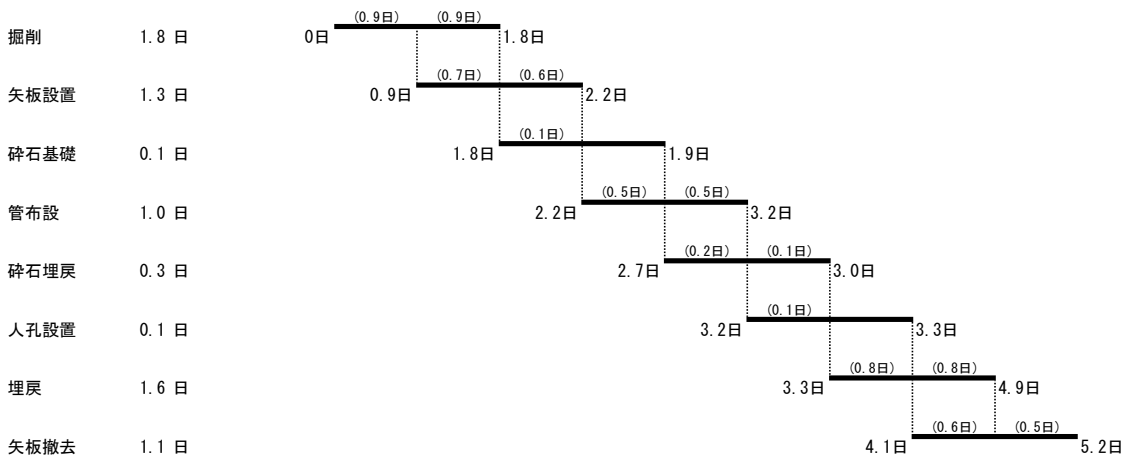
◎矢板の種類	軽量鋼矢板（10.4kg/m）	◎矢板長	L=2.50m B=0.25m 1段
◎転用回数	4回	◎不稼働率	1.70
◎人孔全体数	2基	◎水替路線延長	L=105.50m
塩ビ人孔	1基	◎17" ロック延長	L=26.38m
組立0号	1基	◎転用回数（水替路線）	4回
組立1号	1基	◎17" ロック重量	5.487 t

◎算出諸元

水替 有無	路線番号	人孔（基）			路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削幅 (m)	掘削工 (m ³)			碎石基礎 (m ³)		埋戻工 (m ³)			備考	
		塩ビ製	組立0号	組立1号				BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3	(m ³)	(m ³)	BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3		
有り	布設No.1	1		1	105.50	102.40	0.95		184.6			9.7	26.0		124.5		補助
	計	1		1	105.50	102.40			184.6			9.7	26.0		124.5		

	全体数量	1回当り数量 全体/転用回数	日当り施工量	実働日数	供用日数
・掘削	BH0.10m3	m3	32 m3	日	日
	BH0.20m3	184.6 m3	46.2 m3 下歩掛P.14	1.07 日	1.8 日
	BH0.35m3	m3	60 m3 下歩掛P.14	日	日
・矢板設置	105.50 m	26.38 m	33.9 m 下歩掛P.37	0.78 日	1.3 日
	9.7 m3	2.4 m3	33 m3	0.07 日	0.1 日
・管布設	102.40 m	25.6 m	45.5 m 下歩掛P.26	0.56 日	1.0 日
	26.0 m3	6.5 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.20 日	0.3 日
・人孔設置	塩ビ人孔	1 基	25 基	0.01 日	日
	組立0号	基	5 基 下歩掛（参）P.14	日	日
	組立1号	1 基	4 基 下歩掛（参）P.12	0.08 日	0.1 日
・埋戻	BH0.10m3	m3	33 m3	日	日
	BH0.20m3	124.5 m3	31.1 m3 33 m3 下歩掛P.18	0.94 日	1.6 日
	BH0.35m3	m3	33 m3 下歩掛P.18	日	日
・矢板撤去	105.50 m	26.38 m	40 m 下歩掛P.37	0.66 日	1.1 日

【工程表】



補助延長 = 105.50	単独延長 =				
全体工期	5.2 日 × 4 回	=	20.8 日	=	21 日
矢板賃料日数	{1.3 日 / 2 + (4.1 日 - 2.2 日) + 1.1 日 / 2} × 4 回 + 5 + 4	=	21.4 日	=	22 日
水替	{(4.1 日 - 0.9 日) × 4 回} / 1.70	=	7.5 日	=	8 日
交通整理員	20.8 日 × 3 人	=	62.4 人	=	63 人

工程表（軽量鋼矢板）

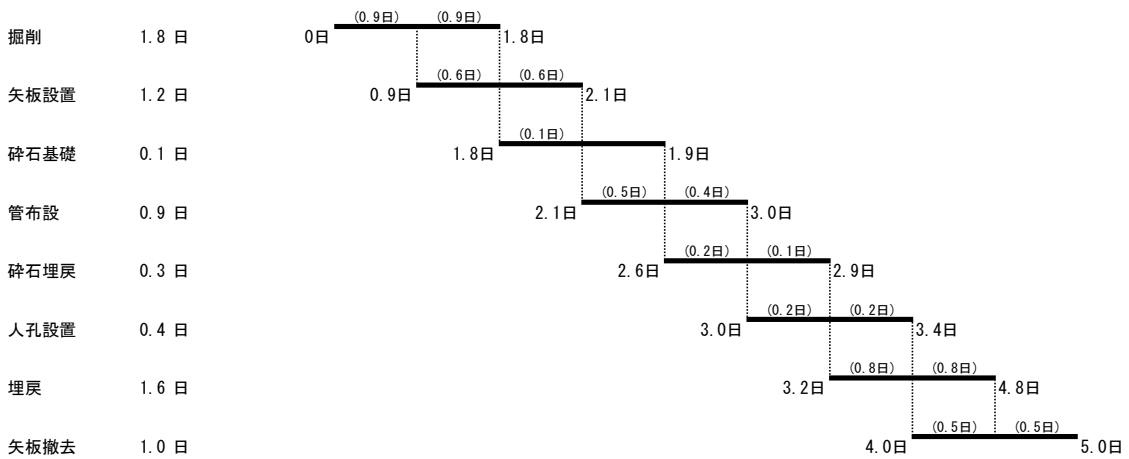
◎矢板の種類	軽量鋼矢板（10.4kg/m）	◎矢板長	L=2.50m B=0.25m 2段
◎転用回数	3回	◎不稼働率	1.70
◎人孔全体数	4基	◎17" ロック延長	L=24.0m
塩ビ人孔	2基	◎水替路線延長	L=72.0m
組立0号	2基	◎転用回数（水替路線）	3回
組立1号	2基	◎17" ロック重量	4.992 t

◎算出諸元

水替 有無	路線番号 布設No.1	人孔（基）		路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削幅 (m)	掘削工（m3）			碎石基礎 (m3)		埋戻工（m3）			備考
		塩ビ製	組立1号				BHO.10m3	BHO.20m3	BHO.35m3	BHO.10m3	BHO.20m3	BHO.35m3			
有り		2	2	72.00	70.50	0.95		135.6		6.7	17.9		94.6		補助
	計	2	2	72.00	70.50			135.6		6.7	17.9		94.6		

	全体数量	1回当り数量 全体/転用回数	日当り施工量	実働日数	供用日数
・掘削	BHO.10m3	m3	32 m3 下歩掛P.14	日 = 日	
	BHO.20m3	135.6 m3	43 m3 下歩掛P.14	1.05 日 = 1.8 日	
	BHO.35m3	m3	60 m3 下歩掛P.14	日 = 日	
・矢板設置	72.00 m	24 m	33.9 m 下歩掛P.37	0.71 日 = 1.2 日	
・碎石基礎	6.7 m3	2.2 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.07 日 = 0.1 日	
・管布設	70.50 m	23.5 m	45.5 m 下歩掛P.26	0.52 日 = 0.9 日	
・碎石埋戻	17.9 m3	6 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.18 日 = 0.3 日	
・人孔設置	塩ビ人孔	2 基	25 基 下歩掛（参）P.14	0.03 日 = 0.1 日	
	組立0号	基	5 基 下歩掛（参）P.12	日 = 日	
	組立1号	2 基	4 基 下歩掛（参）P.12	0.18 日 = 0.3 日	
・埋戻	BHO.10m3	m3	33 m3 下歩掛P.18	日 = 日	
	BHO.20m3	94.6 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.95 日 = 1.6 日	
	BHO.35m3	m3	33 m3 下歩掛P.18	日 = 日	
・矢板撤去	72.00 m	24 m	40 m 下歩掛P.37	0.60 日 = 1.0 日	

【工程表】



補助延長 = 72.00	単独延長 =					補助	単独
全体工期	5.0日 × 3回	=	15.0日	=	15日	15日	
矢板賃料日数	{1.2日/2 + (4.0日 - 2.1日) + 1.0日/2} × 3回 + 5 + 4	=	18.0日	=	18日	18日	
水替	{(4日 - 0.9日) × 3回} / 1.70	=	5.5日	=	6日	6日	
交通整理員	15日 × 3人	=	45.0人	=	45人	45人	

工程表 (素掘り)

水替無し

(補助)

◎人孔全体数 1基
塩ビ人孔 1基
組立0号
組立1号

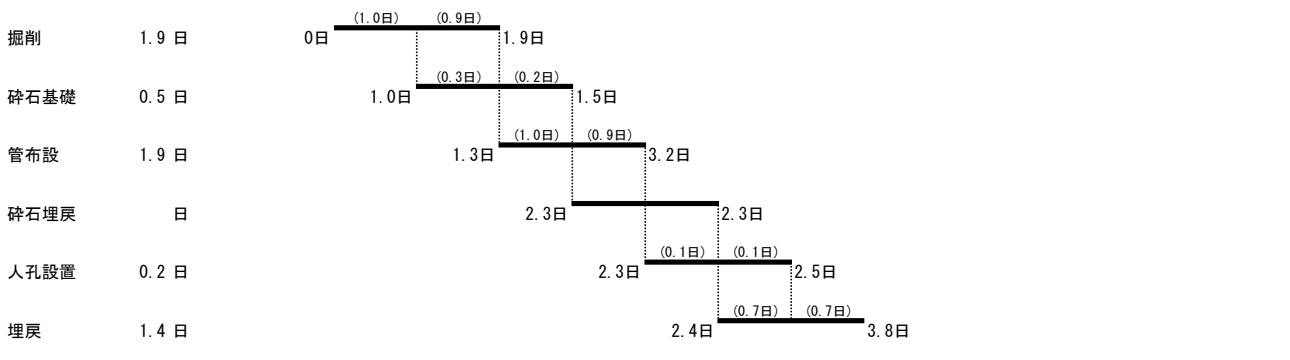
◎不稼働率 1.70

◎算出諸元

路線番号	人孔 (基)			路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削工 (m3)				碎石基礎 (m3)	埋戻工 (m3)			
	塩ビ製	組立0号	組立1号			人力	BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3		人力	BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3
布設No.2	1			49.59	48.19			45.8		10.6				24.8
				3.00										
計	1			52.59	48.19			45.8		10.6				24.8

全体数量			日当り施工量		実働日数		供用日数	
・掘削	人力	m3	5.1	m3	日	=	日	
	BH0.10m3	m3	32	m3	日	=	日	
	BH0.20m3	45.8 m3	43	m3	1.1	=	1.9	日
	BH0.35m3	m3	60	m3	日	=	日	
・碎石基礎		10.6 m3	33	m3	0.3	=	0.5	日
			17	m3		=		
・管布設		48.19 m	45.5	m	1.1	=	1.9	日
・碎石埋戻		m3	33	m3	日	=	日	
			17	m3		=		
・人孔設置	塩ビ人孔	1 基	11.1	基	0.1	=	0.2	日
	組立0号	基	5	基	日	=	日	
	組立1号	基	4	基	日	=	日	
・埋戻	人力	m3	13	m3	日	=	日	
	BH0.10m3	m3	33	m3	日	=	日	
	BH0.20m3	24.8 m3	33	m3	0.8	=	1.4	日
	BH0.35m3	m3	33	m3	日	=	日	

【工程表】



全体工期		=	3.8日	=	4日
交通整理員	3.8日 × 3人	=	11.4人	=	12人

軽量鋼矢板損料計算書 1

軽量鋼矢板長さ	L=2.0m				
補助延長＝	66.10m	1回当り使用延長＝	22.03m		
単独延長＝		転用回数＝	3回		
全体延長＝	66.10m				
1回当りの重量＝	$(22.03m \div 0.25) \times 2 \times$		2.0m	$\times 10.4 \text{ kg/m} =$	3666kg
					= 3.666 t
全体矢板損料＝	3.666 t	\times	17日	\times	132円/t = 8,226 円
補助矢板損料＝	8,226	\times	$(66.10m \div$	66.10m)	= 8,226 円
単独矢板損料＝	8,226	－	8,226		= 円
全体矢板修理損耗費＝	3.666 t	\times	$\{1/2 \times (3回 + 1)\}$	$\times 5750\text{円}/t =$	42,159 円
補助修理損耗費＝	42,159	\times	$(66.10m \div$	66.10m)	= 42,159 円
単独修理損耗費＝	42,159	－	42,159		= 円
全体矢板運搬重量＝	3.666 t				
補助運搬重量＝	3.666 t	\times	$(66.10m \div$	66.10m)	= 3.666 t
単独運搬重量＝	3.666 t	－	3.666		= t
軽量鋼矢板長さ	L=2.5m 1段				
補助延長＝	105.50m	1回当り使用延長＝	26.38m		
単独延長＝		転用回数＝	4回		
全体延長＝	105.50m				
1回当りの重量＝	$(26.38m \div 0.25) \times 2 \times$		2.5m	$\times 10.4 \text{ kg/m} =$	5487kg
					= 5.487 t
全体矢板損料＝	5.487 t	\times	22日	\times	132円/t = 15,934 円
補助矢板損料＝	15,934	\times	$(105.50m \div$	105.50m)	= 15,934 円
単独矢板損料＝	15,934	－	15,934		= 円
全体矢板修理損耗費＝	5.487 t	\times	$\{1/2 \times (4回 + 1)\}$	$\times 5750\text{円}/t =$	78,875 円
補助修理損耗費＝	78,875	\times	$(105.50m \div$	105.50m)	= 78,875 円
単独修理損耗費＝	78,875	－	78,875		= 円
全体矢板運搬重量＝	5.487 t				
補助運搬重量＝	5.487 t	\times	$(105.50m \div$	105.50m)	= 5.487 t
単独運搬重量＝	5.487 t	－	5.487		= t

軽量鋼矢板損料計算書 2

軽量鋼矢板長さ	L=2.5m		2段					
補助延長=	72.00m			1回当り使用延長=	24.00m			
単独延長=				転用回数=	3回			
全体延長=	72.00m							
1回当りの重量=(24.00m	÷0.25)	×2	×	2.5m	×	10.4 kg/m	= 4992kg = 4.992 t
全体矢板損料=	4.992 t	×	18日	×	132円/ t	=		11,860 円
補助矢板損料=	11,860	×	(72.00m	÷	72.00m) =		11,860 円
単独矢板損料=	11,860	-	11,860			=		円
全体矢板修理損耗費=	4.992 t	×	{1/2×(3回	+1)}	×	5750円/ t	=	57,408 円
補助修理損耗費=	57,408	×	(72.00m	÷	72.00m) =		57,408 円
単独修理損耗費=	57,408	-	57,408			=		円
全体矢板運搬重量=	4.992 t							
補助運搬重量=	4.992 t	×	(72.00m	÷	72.00m) =		4.992 t
単独運搬重量=	4.992 t	-	4.992			=		t
軽量鋼矢板長さ	L=3.0m		2段					
補助延長=	118.00m			1回当り使用延長=	29.50m			
単独延長=				転用回数=	4回			
全体延長=	118.00m							
1回当りの重量=(29.50m	÷0.25)	×2	×	3.0m	×	10.4 kg/m	= 7363kg = 7.363 t
全体矢板損料=	7.363 t	×	26日	×	132円/ t	=		25,269 円
補助矢板損料=	25,269	×	(118.00m	÷	118.00m) =		25,269 円
単独矢板損料=	25,269	-	25,269			=		円
全体矢板修理損耗費=	7.363 t	×	{1/2×(4回	+1)}	×	5750円/ t	=	105,843 円
補助修理損耗費=	105,843	×	(118.00m	÷	118.00m) =		105,843 円
単独修理損耗費=	105,843	-	105,843			=		円
全体矢板運搬重量=	7.363 t							
補助運搬重量=	7.363 t	×	(118.00m	÷	118.00m) =		7.363 t
単独運搬重量=	7.363 t	-	7.363			=		t

軽量金属支保材損料算定 1段支保

(参考)

腹起し 110×130
水圧サポート 70タイプ

矢板長 2.0~2.5 m

- アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数
- 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

- ・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料(4m/本)
基本料
- ・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料
- ・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

2026	P.819	P.297	
建設物価	積算資料	平均価格	
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.0m	2.5m	
1ブロック延長	22.03m	26.38m	
支保工本数	12本	14本	0本
供用日数	17日	22日	

全体賃料	アルミ製腹起し =	68円 × (12本 × 17日 + 14本 × 22日 + 0本 × 日)	=	34,816 円
	水圧式サポート =	110円 × (12本 × 17日 + 14本 × 22日 + 0本 × 日)	=	56,320 円
	水圧ポンプ =	154円 × (17日 + 22日 + 日)	=	6,006 円
基本料	アルミ製腹起し =	12本 × 1段 × 500円	=	6,000円
	水圧式サポート =	12本 × 1段 × 500円	=	6,000円
	水圧ポンプ =		=	500円
			合 計	12,500円

全体延長 = 105.50 m
補助延長 = 105.50 m

補助賃料(腹起し) =	34,816円	× (105.50	÷	105.50) =	34,816 円
単独賃料(腹起し) =	34,816円	—	34,816円			=	0 円
補助賃料(水圧サポート) =	56,320円	× (105.50	÷	105.5) =	56,320 円
単独賃料(水圧サポート) =	56,320円	—	56,320円			=	0 円
補助賃料(水圧ポンプ) =	6,006円	× (105.50	÷	105.5) =	6,006 円
単独賃料(水圧ポンプ) =	6,006円	—	6,006円			=	0 円
補助基本料 =	12,500円	× (105.50	÷	105.5) =	12,500 円
単独基本料 =	12,500円	—	12,500円			=	0 円
運搬重量	腹起し材 =	12本	×	38.6kg/本	=	463 kg	
	サポート材 =	12本	×	5.3kg/本	=	64 kg	
					重量合計	527 kg	
補助運搬 =	527kg	× (105.50	÷	105.50) =	527kg
単独運搬 =	527kg	—	527kg			=	0kg

軽量金属支保材損料算定 2段支保

(参考)

腹起し 110×130
水圧サポート 70タイプ

矢板長 2.5~3.0 m

- アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数
- 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料(4m/本)
基本料

・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

	建設物価	積算資料	平均価格
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.5m	3.0m	
1ブロック延長	24.00m	29.50m	
支保工本数	24本	30本	0本
供用日数	18日	26日	

全体賃料
アルミ製腹起し = $68円 \times (24本 \times 18日 + 30本 \times 26日 + 0本 \times 日)$ = 82,416 円
水圧式サポート = $110円 \times (24本 \times 18日 + 30本 \times 26日 + 0本 \times 日)$ = 133,320 円
水圧ポンプ = $154円 \times (18日 + 26日 + 日)$ = 6,776 円

基本料
アルミ製腹起し = $24本 \times 2段 \times 500円$ = 24,000円
水圧式サポート = $24本 \times 2段 \times 500円$ = 24,000円
水圧ポンプ = $500円$ = 500円

合計 48,500円

全体延長 = 190.00 m
補助延長 = 190.00 m

補助賃料(腹起し) = 82,416円 × (190.00 ÷ 190.00) = 82,416 円
単独賃料(腹起し) = 82,416円 - 82,416円 = 0 円

補助賃料(水圧サポート) = 133,320円 × (190.00 ÷ 190.00) = 133,320 円
単独賃料(水圧サポート) = 133,320円 - 133,320円 = 0 円

補助賃料(水圧ポンプ) = 6,776円 × (190.00 ÷ 190.00) = 6,776 円
単独賃料(水圧ポンプ) = 6,776円 - 6,776円 = 0 円

補助基本料 = 48,500円 × (190.00 ÷ 190.00) = 48,500 円
単独基本料 = 48,500円 - 48,500円 = 0 円

運搬重量 腹起し材 = 24本 × 38.6kg/本 = 926 kg
サポート材 = 24本 × 5.3kg/本 = 127 kg

重量合計 1053 kg

補助運搬 = 1053kg × (190.00 ÷ 190.00) = 1053kg
単独運搬 = 1053kg - 1053kg = 0kg

開削工法
数量計算書(单独)
【6工区】

1.管 布 設 工

[単独]

市道(車道部)

塩ビ管管布設工 (No.1)

()工事

管径 φ = 200 mm

表層舗装厚 = 0.05 m As-5-10-10

路盤舗装厚 = 0.20 m (上下路盤)

掘削機種 = 0.20 m³BH

掘削幅 = 0.95 m

【土留め】

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長		掘削		基礎延長 m	管体延長 m	掘削土量 BH 0.20 m ³	発生土埋戻し BH 0.20 m ³	購入土埋戻し BH 3BH m ³	砕石基礎工 人力 m ³	キャップ φ200 個	継可とう手製 φ200 個	曲管			
			1号-1	2号-2	下流側 塩ビ-3 m	掘削深 平均 m									5° φ200 個	11° 1/4 φ200 個	22° 1/2 φ200 個	15° φ200 個
			塩ビ-3 m	塩ビ-3 m														
2100	M-2100-1 M-2100-2	17.90	1	0.45	1.75 1.71	1.68 1.73	17.38	17.45	28.6	18.4		6.1		1				
計		17.90					17.38	17.45	28.6	18.4		6.1		1				

リブ付硬質塩化ビニル管設置工		L =		17.45 m	
土 工	掘削	機械掘削工	バックホー 0.20 m ³		小数1位→ 28.6 m ³
	埋戻	発生土	※埋め戻しは、舗装路盤下まで V =		小数1位→ 18.4 m ³
		購入土	V =		小数1位→ m ³
		砕石基礎工	V = { (0.400 × 0.95) - π/4 } × 0.200 ² × 17.38		小数1位→ 6.1 m ³
	残土	V = 28.6 - (18.4 / 0.90)		小数1位→ 8.2 m ³	

管径 = 0.20 m
砂基礎高さ = 0.40 m

[単独] 市道(車道部) 塩ビ管管布設工 (No.4) ()工事

管径 φ = 200 mm
 表層舗装厚 = 0.10 m Co-10-10
 路盤舗装厚 = 0.10 m (上下路盤)
 掘削機種 = 0.10 m3
 掘削底面幅 = 0.60 m
 【素掘り】

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m		掘削 m		基礎延長 m	管体延長 m	掘削土量 BH 0.10 m3 m ³	発生土埋戻し量 BH 0.10 m3 m ³	購入土埋戻し量 BH 0.10 m3 m ³	キャップ φ200 個	継可とう 手製 φ200 個	曲管					
			1号-1	2号-2	下流側	掘削深平均								5°	11°	22°	15°		
			塩ビ-3	塩ビ-3	上流側	平均								φ200	φ200	φ200	φ200		
2115-2	M-2115-2-1 M-2115-2-2	24.00	3	0.20	1.31	1.11	22.80	23.60	W1=0.822 18.9	W2=0.801 h=0.605 10.8									
計		24.00					22.80	23.60	18.9	10.8									

リフ付硬質塩化ビニル管設置工 L = 23.60 m

土 工	掘削	機械掘削工	ハックホー 0.10 m ³	小数1位→ 18.9 m ³	掘削上幅 W1	
	埋	発生土	※埋め戻しは、舗装路盤下まで	小数1位→ 10.8 m ³	埋戻上幅 W2	
		購入土	V =	小数1位→	砕石基礎上幅	= 0.68 m
	戻	砕石基礎工	$V = \left\{ \frac{0.600 + 0.680}{2} \times 0.400 - \pi / 4 \times 0.200^2 \right\} \times 22.80$	小数1位→ 5.1 m ³	砕石基礎下幅	= 0.60 m
		残土	V = 18.9 - (10.8 / 0.90)	小数1位→ 6.9 m ³	管径	= 0.20 m
					砕石基礎高さ	= 0.40 m

2.マンホール工

[単独]

内径300mm塩ビマンホール数量計算表
本管径φ 200 mm

() 工事

マンホール番号	地盤高	流出高	マンホール深 h1 (m)	防護鉄蓋		基礎砕石 (t=17cm)			小型マンホール工		備考
				(T-25A) (個)	(T-14A) (個)	BH0.35 (m2)	BH0.20 (m2)	人力 (m2)	起点・中間 (箇所)	底部会合 (箇所)	
M- 2115-2-2	1.97	0.202	1.768		1			0.18	1		
M- 2115-2-1	1.81	0.810	1.000		1			0.18	1		
合計			2.768		2			0.36	2		
設置工計	2	箇所	起点・中間		底部会合						
			H≤2.0	2.0<H≤ 3.5	H≤2.0	2.0<H≤ 3.5					
平均マンホール深	1.384	m	2								

3.取付管工

[単独]

取付管工 (No.1)

() 工事

市道(車道)
 舗装表層厚 = 5 cm As-5-10-10 本管掘削幅 = 0.60 m
 上層路盤厚 = 10 cm 舗装切断控除 0.30 m 管径φ 150 mm
 下層路盤厚 = 10 cm

路線名	樹設置箇所	取付管延長		本管土被		a掘削深	b掘削幅	掘削延長	a×b×c掘削土量	ソ異ケツト形	塩ビ接続	可とう継手	取付樹			蓋樹		人孔番号
		下流	上流	平均	下流								平均	H ≤ 1.5	1.5 < H	キャップ	塩ビ製蓋 T-2	
		箇所	箇所 × m =	小計	m	m	m	m	m	m ³								
	右																	
	左																	
	右												1					
2100	右	1	1 × 3.50	3.50	1.45	1.12	0.66	3.50 - 0.3 × 1	3.2	2.2				1			1	M-2100-1
	左	2	2 × 2.50	5.00	1.41	1.12	0.66	5.00 - 0.3 × 2	4.4	3.1				2			2	M-2100-2
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
	右																	
	左																	
計		3		8.50					7.6	5.3	ケ	箇所	ケ	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所
掘削			バックホー 0.20m ³						5.3	m ³	埋戻し (発生土)		5.3 - (0.550 + 0.600) / 2 × 0.25 × 7.6			4.2		m ³
残土			5.3 - (4.2 / 0.9) = 0.62						0.6	m ³	砂基礎		[(0.550 + 0.600) / 2 × 0.250 - 0.15 × 2 × π / 4] × 7.6			1.0		m ³
取付管布設および支管取付工			L < 3.0m						3	箇所	樹設置工		樹深 H ≤ 1.5m			3		箇所
			3.0m ≤ L < 5.0m							箇所			樹深 1.5 < H					箇所
平均L=2.83 m			5.0m ≤ L < 12.0m							箇所			キャップ					箇所

[単独]

取付管工 (No.2)

() 工事

市道(車道)
 本管掘削幅 = 0.60 m
 舗装切断控除 0.30 m 管径φ 150 mm
 舗装表層厚 = 10 cm Co-10-10
 上層路盤厚 = 10 cm
 下層路盤厚 = cm

路線名	樹設置箇所	取付管延長		本管土被		a 掘削深	b 掘削幅	掘削延長		a×b×c 掘削土量 m³	ソ異ケツト形	塩ビ接続	可とう継手	取付樹			蓋樹		人孔番号
		箇所 × m =	小計	下流	平均			m						H ≤ 1.5	1.5 < H	キャップ	塩ビ製蓋 T-2	防護蓋 T-8	
		管所	m	m	m	m	m												
2115-2	右	1	1 × 1.90	1.90	1.01	0.86	0.63	1.90	— 0.3 × 1	1.6	0.8				1			1	M-2115-2-1
	左	3	3 × 1.60	4.80	0.80	0.86	0.63	4.80	— 0.3 × 3	3.9	1.9	1	1	3			3	M-2115-2-2	
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
	右																		
	左																		
計		4		6.70						5.5	2.7	ケ1	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
掘削	バックホー		0.20m³						2.7 m³		埋戻し (発生土)		2.7 - ((0.550 + 0.600) / 2 × 0.25 × 5.5)				1.9 m³		
残土	2.7 - (1.9 / 0.9) =		0.58						0.6 m³		砂基礎		[(0.550 + 0.600) / 2 × 0.250 - 0.15 × 2 × π / 4] × 5.5				0.7 m³		
取付管布設および支管取付工	L < 3.0m								4 箇所		樹設置工		樹深 H ≤ 1.5m				4 箇所		
	3.0m ≤ L < 5.0m								1 箇所				樹深 1.5 < H				1 箇所		
平均L=1.68 m	5.0m ≤ L < 12.0m								1 箇所				キャップ				1 箇所		

4.付帯工

[単独]

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

()工事

市道(車道)
アスファルト(機械)

掘削幅= m

路線名	人孔番号	人孔管延長(m)	舗装切断工		路盤工		表層工	
			t = 0.05 m	m	t = 0.20 m	m ²	A=舗装幅員×延長	m ²
2100	M-2100-1 ~ M-2100-2+24.10	17.90	2 × 17.90	35.80	0.95 × 17.90	17.0		17.0
計		17.90		35.80		17.0		17.0
既設舗装取壊し(BH 0.45)			17.0 m ²	仮舗装取壊し(BH 0.45)			m ²	b < 1.4 = m ²
既設舗装取壊し(人力)			m ²	仮舗装取壊し(人力)			m ²	1.4 ≤ b ≤ 3.0 = m ²
								3.0 < b = m ²
								(b=施工幅)
舗装殻処分工 =			17.0 ×	0.05 =	0.9	舗装殻処分工		
仮舗装殻処分工 =			×	=		0.9 m ³		

[単独]

塩ビ管管布設付帯工(No.2)

()工事

市道(車道)
コンクリート(機械)

掘削幅= m

路線名	人孔番号	人孔管延長(m)	舗装切断工		路盤工		表層工	
			t = 0.10 m	m	t = 0.10 m	m ²	A=舗装幅員×延長	m ²
2115-2	M-2115-2-1 ~ M-2115-2-2	24.00	2 × 24.00	48.00	0.71 × 24.00	17.0		17.0
2115-2	M-2115-2-2 ~ M-2115-1-1	8.50	2 × 8.50	17.00	0.95 × 8.50	8.1		8.1
計		32.50		65.00		25.1		25.1
既設舗装取壊し(BH 0.45)			25.1 m ²		仮舗装取壊し(BH 0.45)		m ²	
既設舗装取壊し(人力)			m ²		仮舗装取壊し(人力)		m ²	
							b < 1.4 = m ² 1.4 ≤ b ≤ 3.0 = m ² 3.0 < b = m ² (b=施工幅)	
舗装殻処分工=			25.1 × 0.1 = 2.5		仮舗装殻処分工=		2.5 m ³	

[単独]

取付管付帯工(No.1)

()工事

舗装表層厚 = 5 cm 市道(車道)
 上層路盤厚 = 10 cm 機械
 下層路盤厚 = 10 cm

路線名	樹設置		舗装切断工		路盤工		表層工		人孔番号
	箇所		列 × m × 箇所	m	m × 掘削幅 × 箇所	m ²	(掘削幅+影響幅) × m	m ²	
	右		×						M-
	左		×						M-
	右		×						M-
	左		×						M-
2100	右	1	2 × 1.66 × 1	3.32	1.66 × 0.76 × 1	1.3	1.3	1.3	M- 2100-2
	左	1	2 × 0.77 × 1	1.54	0.77 × 0.76 × 1	0.6	0.6	0.6	M- 2100-1
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
計				4.86			1.9	1.9	
舗装殻処分工		仮舗装		×			1.9	m ³	
		本舗装		1.9	×	0.05	0.10	m ³	舗装殻処分工 0.10 m ³

[単独]

取付管付帯工(No.2)

()工事

舗装表層厚 = 10 cm 市道(車道)
 上層路盤厚 = 10 cm 機械
 下層路盤厚 = cm

路線名	樹設置		舗装切断工		路盤工		表層工		人孔番号
	箇所		列 × m × 箇所	m	m × 掘削幅 × 箇所	m ²	(掘削幅+影響幅) × m	m ²	
2115-2	右	1	2 × 0.11 × 1	0.22	0.11 × 0.70 × 1	0.1		0.1	M-2115-2-1
	左	3	2 × 0.25 × 3	1.50	0.25 × 0.70 × 3	0.5		0.5	M-2115-2-2
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
	右		×						
	左		×						
計				1.72		0.6		0.6	
舗装殻処分工		仮舗装		×		m ³			
		本舗装		0.6	×	0.1	0.06	舗装殻処分工	0.06 m ³

5.工程表

鋼材運搬算定表

(単独)

	仮設リース材		備 考
	往路(t)	復路(t)	
軽量鋼矢板(l=2.0)	2.979	2.979	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=2.5)	1.768	1.768	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=3.0)			軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=3.5)			軽量鋼矢板 損料計算書
軽量金属支保(1段支保)	0.395	0.395	軽量金属支保 損料算定
軽量金属支保(2段支保)	0.395	0.395	軽量金属支保 損料算定
計	5.537	5.537	
合 計	往復路計 5.5 t		

工程表（軽量鋼矢板）

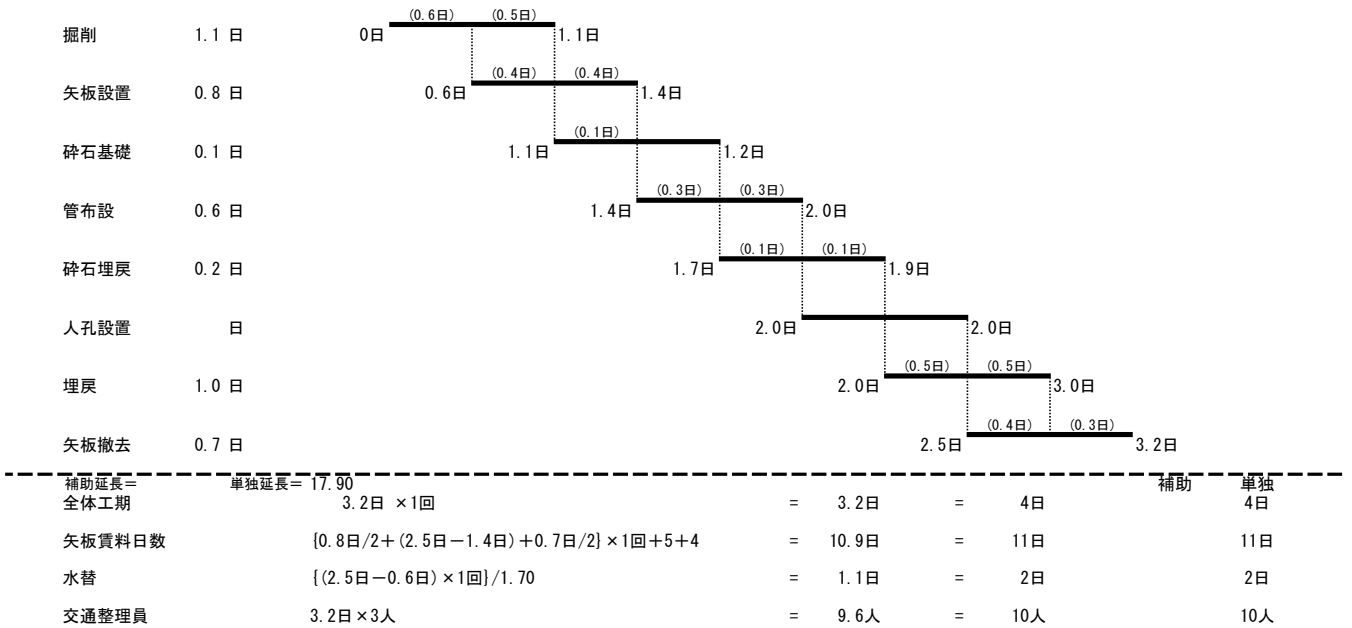
◎矢板の種類 軽量鋼矢板 (10.4kg/m) ◎矢板長 L=2.0m B=0.25m
 ◎転用回数 1回 ◎不稼働率 1.70 ◎水替路線延長 L=17.90m
 ◎人孔全体数 塩ビ人孔 組立0号 組立1号 ◎17' ロック延長 L=17.90m ◎転用回数（水替路線） 1回

◎算出諸元

水替 有無	路線番号 布設No. 1	人孔 (基)			路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削幅 (m)	掘削工 (m ³)			碎石基礎 (m ³)		埋戻工 (m ³)		備考	
		塩ビ製	組立0号	組立1号				BH0. 10m3	BH0. 20m3	BH0. 35m3	(m ³)	(m ³)	BH0. 10m3	BH0. 20m3		BH0. 35m3
有り					17.90	17.45	0.95		28.6			1.7	4.4		18.4	単独
	計				17.90	17.45			28.6			1.7	4.4		18.4	

		全体数量	1回当り数量 全体/転用回数	日当り施工量	実働日数	供用日数
・掘削	BH0. 10m3	m3	m3	32 m3 下歩掛P. 14	日 =	日
	BH0. 20m3	28.6 m3	28.6 m3	43 m3 下歩掛P. 14	0.67 日 =	1.1 日
	BH0. 35m3	m3	m3	60 m3 下歩掛P. 14	日 =	日
・矢板設置		17.90 m	17.9 m	39.3 m 下歩掛P. 37	0.46 日 =	0.8 日
				33 m3	0.05 日 =	0.1 日
・碎石基礎		1.7 m3	1.7 m3	33 m3 下歩掛P. 18	0.05 日 =	0.1 日
・管布設		17.45 m	17.45 m	45.5 m 下歩掛P. 26	0.38 日 =	0.6 日
・碎石埋戻		4.4 m3	4.4 m3	33 m3 下歩掛P. 18	0.13 日 =	0.2 日
				25 基	日 =	日
・人孔設置	塩ビ人孔	基	基	下歩掛 (参) P. 14	日 =	日
	組立0号	基	基	5 基	日 =	日
	組立1号	基	基	4 基 下歩掛 (参) P. 12	日 =	日
・埋戻	BH0. 10m3	m3	m3	33 m3 下歩掛P. 18	日 =	日
	BH0. 20m3	18.4 m3	18.4 m3	33 m3 下歩掛P. 18	0.56 日 =	1.0 日
	BH0. 35m3	m3	m3	33 m3 下歩掛P. 18	日 =	日
・矢板撤去		17.90 m	17.9 m	43.5 m 下歩掛P. 37	0.41 日 =	0.7 日

【工程表】



工程表（軽量鋼矢板）

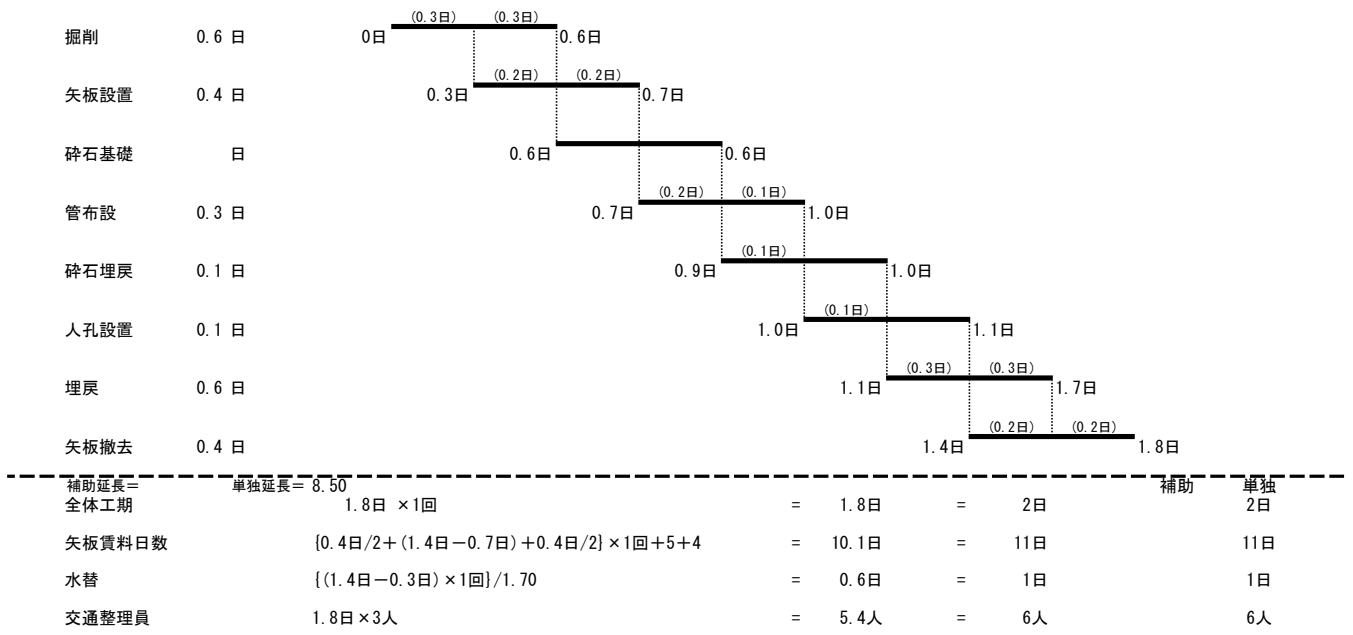
◎矢板の種類	軽量鋼矢板（10.4kg/m）	◎矢板長	L=2.50m B=0.25m 2段		
◎転用回数	1回	◎不稼働率	1.70	◎水替路線延長	L=8.50m
◎人孔全体数	2基	◎17' ロック延長	L=8.50m	◎転用回数（水替路線）	1回
塩ビ人孔	2基	◎17' ロック重量	1.768 t		
組立構内					
組立1号					

◎算出諸元

水替有無	路線番号	人孔（基）			路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削幅 (m)	掘削工（m3）			砕石基礎 (m3)		埋戻工（m3）			備考
		塩ビ製	組立構内	組立1号				BHO.10m3	BHO.20m3	BHO.35m3	(m3)	(m3)	BHO.10m3	BHO.20m3	BHO.35m3	
有り	布設No.1	1			8.50	7.75	0.95		15.4			0.7	2.0		11.4	単独
		1														
	計	2			8.50	7.75			15.4			0.7	2.0		11.4	

		全体数量	1回当り数量		日当り施工量	実働日数		供用日数
			全体/転用回数					
・掘削	BHO.10m3	m3	m3	m3	32 m3 下歩掛P.14	日	=	日
	BHO.20m3	15.4 m3	15.4 m3	15.4 m3	43 m3 下歩掛P.14	0.36 日	=	0.6 日
	BHO.35m3	m3	m3	m3	60 m3 下歩掛P.14	日	=	日
・矢板設置		8.50 m	8.5 m	8.5 m	33.9 m 下歩掛P.37	0.25 日	=	0.4 日
・砕石基礎		0.7 m3	0.7 m3	0.7 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.02 日	=	日
・管布設		7.75 m	7.75 m	7.75 m	45.5 m 下歩掛P.26	0.17 日	=	0.3 日
・砕石埋戻		2.0 m3	2 m3	2 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.06 日	=	0.1 日
	・人孔設置	塩ビ人孔	2 基	2.0 基	25 基 下歩掛（参）P.14	0.08 日	=	0.1 日
		組立0号	基	基	5 基 下歩掛（参）P.12	日	=	日
		組立1号	基	基	4 基 下歩掛（参）P.12	日	=	日
・埋戻	BHO.10m3	m3	m3	m3	33 m3 下歩掛P.18	日	=	日
	BHO.20m3	11.4 m3	11.4 m3	11.4 m3	33 m3 下歩掛P.18	0.35 日	=	0.6 日
	BHO.35m3	m3	m3	m3	33 m3 下歩掛P.18	日	=	日
・矢板撤去		8.50 m	8.5 m	8.5 m	40 m 下歩掛P.37	0.21 日	=	0.4 日

【工程表】



工程表 (素掘り)

水替無し

(単独)

◎人孔全体数
塩ビ人孔
組立構内
組立1号

1基
1基

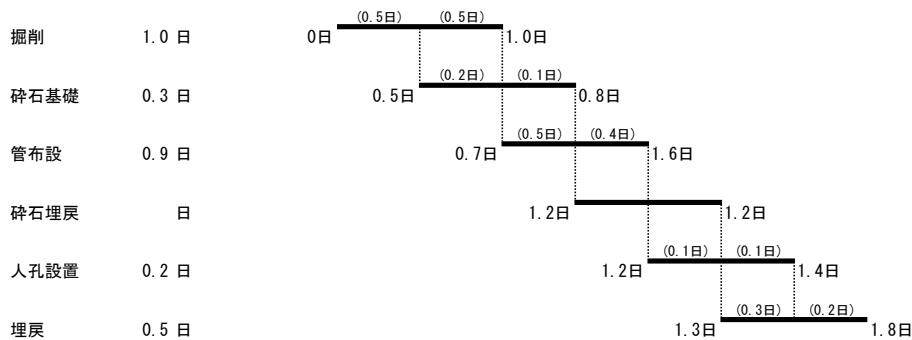
◎不稼働率 1.70

◎算出諸元

路線番号	人孔 (基)			路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削工 (m ³)				碎石基礎 (m ³)	埋戻工 (m ³)						
	塩ビ製	組立構内	組立1号			人力	BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3		人力	BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3			
布設No.4	1			24.00	23.60	18.9				5.1				10.8			
計	1			24.00	23.60	18.9				5.1				10.8			

		全体数量	日当り施工量	実働日数	供用日数
・掘削	人力	m ³	5.1 m ³	日	= 日
	BH0.10m3	18.9 m ³	国交積P.45 32 m ³	0.6 日	= 1.0 日
	BH0.20m3	m ³	下歩掛P.13 43 m ³	日	= 日
	BH0.35m3	m ³	下歩掛P.13 60 m ³	日	= 日
・碎石基礎		5.1 m ³	下歩掛P.13 33 m ³	0.2 日	= 0.3 日
・管布設		23.60 m	下歩掛P.17 45.5 m	0.5 日	= 0.9 日
・碎石埋戻		m ³	下歩掛P.26 33 m ³	日	= 日
・人孔設置	塩ビ人孔	1 基	下歩掛P.17 11.1 基	0.1 日	= 0.2 日
	組立0号	基	下歩掛P.78 5 基	日	= 日
	組立1号	基	下歩掛P.77 4 基	日	= 日
・埋戻	人力	m ³	下歩掛P.77 13 m ³	日	= 日
	BH0.10m3	10.8 m ³	管路施設(開削)P37 33 m ³	0.3 日	= 0.5 日
	BH0.20m3	m ³	下歩掛P.17 33 m ³	日	= 日
	BH0.35m3	m ³	下歩掛P.17 33 m ³	日	= 日

【工程表】



全体工期		= 1.8日	= 2日
交通整理員	1.8日 × 3人	= 5.4人	= 6人

軽量鋼矢板損料計算書 1

軽量鋼矢板長さ	L=2.0m		
補助延長=		1回当り使用延長= 17.90m	
単独延長= 17.90m		転用回数= 1回	
全体延長= 17.90m			
1回当りの重量=($17.90m \div 0.25) \times 2 \times$	$2.0m \times 10.4 \text{ kg/m} =$	2979kg = 2.979 t
全体矢板損料= 2.979 t	\times	11日	\times 132円/ t = 4,325 円
補助矢板損料= 4,325	\times (\div 17.90m) = 円
単独矢板損料= 4,325	—		= 4,325 円
全体矢板修理損耗費= 2.979 t	\times {1/2×(1回 +1)}	\times 5750円/ t = 17,129 円
補助修理損耗費= 17,129	\times (\div 17.90m) = 円
単独修理損耗費= 17,129	—		= 17,129 円
全体矢板運搬重量= 2.979 t			
補助運搬重量= 2.979 t	\times (\div 17.90m) = t
単独運搬重量= 2.979 t	—		= 2.979 t

軽量鋼矢板損料計算書 2

軽量鋼矢板長さ	L=2.5m 2段		
補助延長=		1回当り使用延長= 8.50m	
単独延長= 8.50m		転用回数= 1回	
全体延長= 8.50m			
1回当りの重量=($8.50m \div 0.25) \times 2 \times$	$2.5m \times 10.4 \text{ kg/m} =$	1768kg = 1.768 t
全体矢板損料= 1.768 t	\times	11日	\times 132円/ t = 2,567 円
補助矢板損料= 2,567	\times (\div 8.50m) = 円
単独矢板損料= 2,567	—		= 2,567 円
全体矢板修理損耗費= 1.768 t	\times {1/2×(1回 +1)}	\times 5750円/ t = 10,166 円
補助修理損耗費= 10,166	\times (\div 8.50m) = 円
単独修理損耗費= 10,166	—		= 10,166 円
全体矢板運搬重量= 1.768 t			
補助運搬重量= 1.768 t	\times (\div 8.50m) = t
単独運搬重量= 1.768 t	—		= 1.768 t

軽量金属支保材損料算定 1段支保

(参考)

腹起し 110×130
水圧サポート 70タイプ

矢板長 2.0~2.5 m

- アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数
- 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

- ・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料(4m/本)
基本料
- ・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料
- ・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

2026	P.819	P.297	
建設物価	積算資料	平均価格	
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.0m	2.5m	
1ブロック延長	17.90m		
支保工本数	9本	0本	0本
供用日数	11日		

全体賃料	アルミ製腹起し =	68円 × (9本 × 11日 + 0本 × 日 + 0本 × 日)	=	6,732 円
	水圧式サポート =	110円 × (9本 × 11日 + 0本 × 日 + 0本 × 日)	=	10,890 円
	水圧ポンプ =	154円 × (11日 + 日 + 日)	=	1,694 円
基本料	アルミ製腹起し =	9本 × 1段 × 500円	=	4,500円
	水圧式サポート =	9本 × 1段 × 500円	=	4,500円
	水圧ポンプ =		=	500円
		合計		9,500円

全体延長 = 17.90 m
補助延長 = 0.00 m

補助賃料(腹起し) =	6,732円	× (0.00	÷	17.90) =	0 円
単独賃料(腹起し) =	6,732円	-	0,000円			=	6,732 円
補助賃料(水圧サポート) =	10,890円	× (0.00	÷	17.9) =	0 円
単独賃料(水圧サポート) =	10,890円	-	0,000円			=	10,890 円
補助賃料(水圧ポンプ) =	1,694円	× (0.00	÷	17.9) =	0 円
単独賃料(水圧ポンプ) =	1,694円	-	0,000円			=	1,694 円
補助基本料 =	9,500円	× (0.00	÷	17.9) =	0 円
単独基本料 =	9,500円	-	0,000円			=	9,500 円
運搬重量	腹起し材 =	9本	×	38.6kg/本	=	347 kg	
	サポート材 =	9本	×	5.3kg/本	=	48 kg	
					重量合計	395 kg	
補助運搬 =	395kg	× (0.00	÷	17.90) =	0kg
単独運搬 =	395kg	-	0kg			=	395kg

軽量金属支保材損料算定 2段支保

(参考)

腹起し 110×130
水圧サポート 70タイプ

矢板長 2.5~3.0 m

- アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数
- 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料(4m/本)
基本料

・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

	建設物価	積算資料	平均価格
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.5m	3.0m	
1ブロック延長	8.50m		
支保工本数	9本	0本	0本
供用日数	11日		

全体賃料	アルミ製腹起し =	68円 × (9本 × 11日 + 0本 × 日 + 0本 × 日)	=	6,732 円
	水圧式サポート =	110円 × (9本 × 11日 + 0本 × 日 + 0本 × 日)	=	10,890 円
	水圧ポンプ =	154円 × (11日 + 日 + 日)	=	1,694 円
基本料	アルミ製腹起し =	9本 × 2段 × 500円	=	9,000円
	水圧式サポート =	9本 × 2段 × 500円	=	9,000円
	水圧ポンプ =		=	500円
			合 計	18,500円

全体延長 = 8.50 m
補助延長 = 0.00 m

補助賃料(腹起し) =	6,732円	× (0.00	÷	8.50) =	0 円
単独賃料(腹起し) =	6,732円	-	0,000円			=	6,732 円
補助賃料(水圧サポート) =	10,890円	× (0.00	÷	8.50) =	0 円
単独賃料(水圧サポート) =	10,890円	-	0,000円			=	10,890 円
補助賃料(水圧ポンプ) =	1,694円	× (0.00	÷	8.50) =	0 円
単独賃料(水圧ポンプ) =	1,694円	-	0,000円			=	1,694 円
補助基本料 =	18,500円	× (0.00	÷	8.50) =	0 円
単独基本料 =	18,500円	-	0,000円			=	18,500 円
運搬重量	腹起し材 =	9本	×	38.6kg/本	=	347 kg	
	サポート材 =	9本	×	5.3kg/本	=	48 kg	
					重量合計	395 kg	
補助運搬 =	395kg	× (0.00	÷	8.50) =	0kg
単独運搬 =	395kg	-	0kg			=	395kg

試験堀

	入 力 自 動 計 算												
	W	L	H	舗装切 断	舗装版 破碎	As殻運 搬	As殻処 分	掘削	埋戻	土砂等 運搬・処 分	下層路 盤 (t=10c m)	上層路 盤 (t=12c m)	表層 (t=3cm)
算出式				$(W+L)*2$	$W*L$	$W*L*0.05$	$W*L*0.05*2.35$	$W*L*(H-0.05)$	$W*L*(H-0.25)$	掘削-埋 戻/0.9	$W*L$	$W*L$	$W*L$
単位	m	m	m	m	m ²	m ³	t	m ³	m ³	m ³	m ²	m ²	m ²
M-2128-1	2.0	2.0	1.5	8.0	4.0	0.2	0.5	5.8	5.0	0.2	4.0	4.0	4.0
M-2115-1-1	1.5	1.5	1.5	6.0	2.3	0.1	0.3	3.3	2.8	0.1	2.3	2.3	2.3
M-2115-2	2.0	2.0	1.5	8.0	4.0	0.2	0.5	5.8	5.0	0.2	4.0	4.0	4.0
M-2116-1-1	1.5	1.5	1.5	6.0	2.3	0.1	0.3	3.3	2.8	0.1	2.3	2.3	2.3
合計				28.0	12.5	0.6	1.5	18.1	15.6	0.8	12.5	12.5	12.5
計上数量				28	13	0.6	1	18	16	0.8	13	13	13

推進工法
数量計算書(補助)
【6工区】

1.推 進 工

総括表 推進工 (1)

VPφ200

低耐荷力方式 泥土圧一工式 1/2

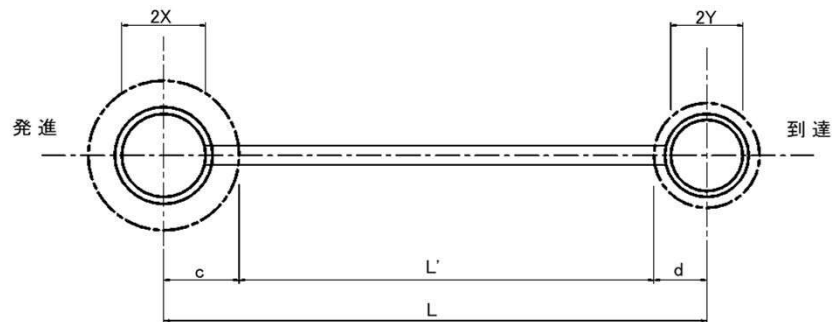
補助

工種	種別	規格	単位	補助	計
人孔間距離			m	129.67	129.7
管渠延長			m	125.62	125.6
推進延長			m	122.67	122.7
	推進用硬質塩化ビニル管 (低耐荷力泥土圧)	VPφ200mm	m	122.67	122.7
	推進用硬質塩化ビニル管 (SUSカラー付直管)	標準管・先頭管L=1.00m/本 VPφ200mm	本	124	124
		最終管L=1.00m/本 VPφ200mm	本	4	4
	推進工 (低耐荷力泥土圧) 呼び径φ200	N≤15	m	122.67	122.7
	スクレコンベヤ類撤去工 (低耐荷力泥土圧)	呼び径φ200 L=1.00m/本	m	122.67	122.7
	添加材注入工		m	122.67	122.7
	添加材		kg/m	0.127	0.127
	発生土処理				
	発生土処分工	建設汚泥	m ³	5.52	6
立坑内管布設工		φ200	m	2.95	3
仮設備工					
	坑口工	呼び径φ200	箇所	8	8
	鏡切り	呼び径φ200 鋼製ケーシング	箇所	8	8
	推進設備等設置撤去				
	推進設備工		箇所	2	2
	先導体据付撤去工	分割回収	箇所	4	4
	推進設備等据換え				
	推進設備据換え工		箇所	2	2

VPφ200mm小口径低耐荷力推進工(泥土圧一工式) 数量計算書

(補助)

路線番号	管径 mm	発進到達 人孔番号	人孔間距離 ① L m	推進減長 ② c+d m	推進延長 ③ L' m	人孔減長 ④ X+Y m	管渠延長 ⑤ ①-④ m	管本数				残土処分 0.045m ³ /m	管布設工 発進側到達側 m	管基礎工 発進側到達側 m	鏡切工		坑口工		推進設備				備考		
								VPφ200(SUS)							発進	到達	発進	到達	設置撤去 m	据替 m	c m	d m		X m	Y m
								2.00 本	1.00 本	先頭管	最終管														
2115	φ200	VP M-2115-2										0.55												日進量 8.2m/日	
		M-2115-1-1	64.00	1.75	62.25	0.90	63.10		62	1	1	2.80	0.30		1	1	1	1	1			1.00	0.75	0.45	0.45
2115-1	φ200	VP M-2128-1										0.40												日進量 8.2m/日	
		M-2115-1-1	41.53	1.75	39.78	1.05	40.48		39	1	1	1.79	0.30		1	1	1	1	1			1.00	0.75	0.60	0.45
2128	φ200	VP M-2128-1										0.40												日進量 8.2m/日	
		M-2128-2	15.79	1.75	14.04	1.05	14.74		13	1	1	0.63	0.30		1	1	1	1	1		1	1.00	0.75	0.60	0.45
2116-1	φ200	VP M-2128-1										0.40												日進量 8.2m/日	
		M-2116-1-1	8.35	1.75	6.60	1.05	7.30		6	1	1	0.30	0.30		1	1	1	1	1		1	1.00	0.75	0.60	0.45
計			129.67	7.00	122.67	4.05	125.62		120	4	4	5.52	2.95		4	4	4	4	2	2					



1 m当り残土量
 先導管外径 0.240 m
 $V = 0.240^2 \times \pi / 4 = 0.045 \text{ m}^3/\text{m}$

1推進区間の平均推進延長 L = 30.67 m
 推進管 1本あたりの延長 l = 1.00 m

$a = 1/1$ $b = 2 \times L/10$ $c = 1 + L/10$
 $d = 2 + 1/2 \times (L/10)$

VP φ 200mm 掘削添加材注入工 数量計算書

(補助)

スパン	推進延長	土質名	P 0.075mm	P 0.25mm	P 2.0mm	均等 係数 Uc	地下水による 補正係数 α	補正係数 β	添加材 使用量 U	溶液注 入係数 Q	注入損 失係数 γ	添加材 注入量 V	添加材 必要量 G	備 考
	m		%	%	%				kg/m ³			m ³ /m	kg/m	
No.M-2115-2～ No.M-2115-1-1	62.25	N≦15	11.0 11.0	32.2 32.2	50.0 96.3	10.21 Uc≧4	1.00	1.00	6.333	0.214	1.5	1.245 0.0200	7.885 0.1267	Bor.No.1R4.10.25 P-5
No.M-2128-1～ ～No.M-2115-1-1	39.78	N≦15	11.0 11.0	32.2 32.2	50.0 96.3	10.21 Uc≧4	1.00	1.00	6.333	0.214	1.5	0.796 0.0200	5.039 0.1267	Bor.No.1R4.10.25 P-5
No.M-2128-1～ ～No.M-2128-2	14.04	N≦15	11.0 11.0	32.2 32.2	50.0 96.3	10.21 Uc≧4	1.00	1.00	6.333	0.214	1.5	0.281 0.0200	1.778 0.1267	Bor.No.1R4.10.25 P-5
No.M-2128-1～ ～No.M-2116-1-1	6.60	N≦15	11.0 11.0	32.2 32.2	50.0 96.3	10.21 Uc≧4	1.00	1.00	6.333	0.214	1.5	0.132 0.0200	0.836 0.1267	Bor.No.1R4.10.25 P-5
合 計	122.67											2.454 0.020	15.538 0.127	

※ 添加材使用量の算出
(推進工法用設計積算要領 小口径管推進工法 低耐荷力管推進工法編 2022年改訂版P.
(3) 掘削添加材の注入量

(1) 水1m³当りの添加材の使用量

$$U = 1/3 \times (30 - P_{0.075}) \times \alpha \times \beta$$

ここに、

U : 水1m³当りの掘削添加材の使用量(kg/m³)
 P_{0.075} : 0.075mm粒径通過百分率、30%以上は30とする。
 α : 地下水質による補正係数
 α = 300 ÷ 当該水質での飽和吸水率(300)
 飽和吸水倍率 水道水 300～400g/g
 地下水 250～350g/g
 海水 50g/g
 β : 均等係数(Uc)による補正係数
 Uc ≧ 4 1.00
 4 > Uc ≧ 3 1.05
 3 > Uc ≧ 2 1.10

$$V = S \times Q \times \gamma$$

ここに、

V : 添加材溶液の注入量(m³/m)
 S : 切羽断面積(m²)
 S = π/4 × (先導体外径 + ゆるみ幅 × 2)²

呼び径(掘削管)	先導管外径	ゆるみ幅	S(m ²)
200	0.240	0.02	0.062
250	0.290	0.02	0.086
300	0.340	0.02	0.113
350	0.385	0.02	0.142
400	0.435	0.02	0.177
450	0.485	0.02	0.216

(2) 地山1m³当りの添加材溶液の注入量

$$Q = [(30 - P_{0.075}) + (40 - P_{0.25}) + (50 - P_{2.0})] \times 4/5 \times 1/100$$

ここに、

Q : 地山土量1m³当りの添加材溶液の注入量(m³/m³)
 P_{0.075} : 0.075mm粒径通過百分率、30%以上は30とする。
 P_{0.25} : 0.25 mm粒径通過百分率、40%以上は40とする。
 P_{2.0} : 2.0 mm粒径通過百分率、50%以上は50とする。

Q : 添加材の地山1m³当り必要量
 γ : 注入損失係数(1.5～1.8)

(4) 掘削添加材の必要量

$$G = U \times V$$

ここに、

G : 添加材の必要量(kg/m)
 U : 水1m³当りの添加材の使用量(kg/m³)
 V : 添加材溶液の注入量(m³/m)

2.立 坑 工

立坑工総括表 (1)

【補助】

工種 レベ`ル2	種別 レベ`ル3	細別・名称 レベ`ル4	仕様	単位	M-2128-2	M-2116-1-1	M-2128-1	M-2115-1-1	M-2115-2	合計	摘要	
					到達立坑	到達立坑	発進立坑	到達立坑	発進立坑			
					φ 1500	φ 1500	φ 2000	φ 1500	φ 2000			
立坑工	管路土工	管路掘削	機械掘削(床堀) BH山積0.8m3	m3		7.727	16.634	8.895	15.823	49		
		管路埋戻	砂埋戻工	m3	2.200		4.152	2.134	5.205	14		
			発生土埋戻工	m3	1.294		2.442	1.44	3.09	8		
		発生土処分【現場→仮置場】	発生土運搬工	m3		7.727	16.634	8.895	15.823	49		
		発生土処分【仮置場→処分場】	積込 (ルーズ)	m3		7.727	13.921	7.295	12.390	41		
			土砂等運搬	m3		7.727	13.921	7.295	12.39	41		
			建設発生土処分	m3		7.727	13.921	7.295	12.39	41		
		埋戻土運搬【仮置場→現場】	積込 (ルーズ)	m3	1.438		2.713	1.600	3.433	9		
			土砂等運搬	m3	1.438		2.713	1.600	3.433	9		
		立坑工	鋼製ケーシング式土留工	圧入掘削積込み工 呼び径φ2000(揺動圧入) 呼び径φ1500(揺動圧入)	砂質土 N≤30	m		4.236	5.170	4.876	4.918	19.2
砂質土 30<N≤50	m										Φ2000 10.1	
砂質土 50<N	m											
合計	m				4.236	5.170	4.876	4.918	19.2			
ケーシング溶接工	呼び径φ2000 溶接延長			箇所 m			1 6.50			1 6.50	2 13.0	
	呼び径φ1500 溶接延長			箇所 m		1 4.90			1 4.90	2 9.8		
ケーシング引上げ工	呼び径φ2000			m			1 0.90			1 0.90	2 1.8	
	呼び径φ1500			m		1 0.90			1 0.90	2 1.8		
ケーシング撤去工	呼び径φ2000			箇所				1		1	2	L=1.480m L=1.432m
	呼び径φ1500			箇所	1				1		2	L=1.428m L=1.374m
ケーシング切断工	呼び径φ2000			m				12.203		12.011	24.2	
	呼び径φ1500			m	10.424				10.208		20.6	
底盤コンクリート打設工	呼び径φ2000			箇所				1		1	2	
	呼び径φ1500			箇所		1			1		2	
	水中コンクリート 30-18-20N(25N)			m3		1.80	3.10	1.80	3.10		9.8	
スライム処理工	呼び径φ2000			回				1		1	2	
	呼び径φ1500			回		1			1		2	
	泥水処分量			m3		0.70	1.20	0.70	1.20		3.8	
機械設置撤去工	呼び径φ2000			回				1		1	2	
	呼び径φ1500			回		1			1		2	
鋼製ケーシング残置 呼び径φ2000 t=12mm	刃先			個				1		1	2	
	先頭ケーシング			m				2.400		2.400	4.8	
	最終ケーシング			m				2.100		1.800	3.9	
	合計			m				4.500		4.200	8.7	
鋼製ケーシング残置 呼び径φ1500 t=12mm	刃先			個		1			1		2	
	先頭ケーシング			m		2.400			2.400		4.8	
	最終ケーシング			m		1.100			1.700		2.8	
	合計			m		3.500			4.100		7.6	
仮設ケーシング損料	呼び径φ2000 L=2.0~2.5m/本			本				1		1	2	
	呼び径φ1500 L=2.0~2.5m/本			本		1			1		2	
鏡切り	φ200mm 小型(鋼製)立坑 t=12mm	箇所	1	1	4		5	2	13			
スクラップ		t	0.142	0.007	0.169	0.166	0.150		0.6	撤去分+鏡切分		
鋼材運搬重量	搬入出 L≤12m	t		1.35	2.10	1.35	2.10		6.9			
仮設架台設置・撤去工		t			0.70				0.7			

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式				数 量
	M-2128-2 到達立坑 鋼製ケーシング式土留工 (揺動圧入)	φ 1500mm t=12mm				
	圧入掘削積込み工	「2020年版日推協発進及び到達編 P.211」より		H ≤ 9.0	9.0 < H ≤ 15.0	計
	粘性土	N ≤ 5 5 < N ≤ 30	既設舗装厚 = 5cm			m m
	砂質土	N ≤ 30				m
		30 < N ≤ 50				m
		50 < N				m
	砂礫土 (礫径200mm以下)	N ≤ 30				m
		30 < N ≤ 50				m
		50 < N				m
	合計 =					m
	ケーシング溶接工 「2020年版日推協発進及び到達編 P.211」より			×	=	箇所 m
	ケーシング引上げ工 「R7年度 下水標準歩掛 P.431」より				=	m
	ケーシング撤去工				=	1 箇所
	ケーシング切断工	$\pi \times 1.500 + 1.428 \times 4$			=	10.424 m
	底盤コンクリート打設工 「R7年度 下水標準歩掛 P.434」 「2020年版日推協発進及び到達編 P.202」より 30-18-20N(25N) 水中コンクリート				=	箇所 m3
	スライム処理工 「R7年度 下水標準歩掛 P.438」より (泥水運搬処理) φ 1500mm				=	回 m3
	機械設置撤去工				=	回
	鋼製ケーシング残置 刃先 呼び径1500mm				=	個
	鋼製ケーシング	φ 1500mm t=12mm	m	本		
		先頭ケーシング		1 =		
		中間ケーシング		1 =		
		最終ケーシング		1 =		
	合計 =					m
	仮設ケーシング損料	呼び径1500mm	L=2.0~2.5 m/本		=	本
	スクラップ	「2020年版日推協発進及び到達編 P.207」より 呼び径1500mm ケーシング単位重量		0.094 t/m2		
		撤去分	1.428 × 0.094 =	0.135 t		
		鏡切り分 (管外径 : 0.216+余裕 : 0.10=0.316、管外径 : 0.165+余裕 : 0.10=0.265)				
		φ 200 $\pi/4 \times 0.316^2 \times 0.094 \times 1 =$		0.007		
		φ 150 $\pi/4 \times 0.265^2 \times 0.094 \times =$		t		
	合計 =					0.142 t
	鋼材運搬重量 「2025 建設物価基礎価格表 P.224」より					
	搬入出	呼び径1500mm	呼び径1500mm L=2.0~2.5m 仮設ケーシング重量	1.350 t/本		
		L ≤ 12m	仮設ケーシング 呼び径1500mm L=2.0~2.5m/本	=		t

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式	数 量	
管路土工	M-2128-2 到達立坑	小型立坑(鋼製ケーシング式) φ1500mm t=12mm		
	圧入掘削土量	$\pi/4 \times 1.524^2 \times$	= m3	
	管路埋戻	(立坑基礎～GL-1.50mまで)		
	砂埋戻し	$\pi/4 \times 1.500^2 \times 2.472 = 4.368$		
		控除量		
		調整Co $\pi/4 \times 1.500^2 \times$	= m3	
		MH底版 $\pi/4 \times 1.100^2 \times 0.130 = 0.124$	m3	
		MH直壁 $\pi/4 \times 1.050^2 \times 2.342 = 2.028$	m3	
		管φ200 $\pi/4 \times 0.216^2 \times 2 = 0.225$	m3	
		計 2.168	m3	
	4.368 - 2.168	= 2.200 m3	2.200 m3	
発生土埋戻	発生土埋戻	(GL-1.50m～路盤下まで)		
		$\pi/4 \times 1.500^2 \times (1.500 - 0.250) = 2.209$	m3	
		控除量		
		MH直壁 $\pi/4 \times 1.050^2 \times 0.958 = 0.830$	m3	
		MH斜壁 $\pi/4 \times (1.050^2 + 0.820^2) / 2 \times 0.292 = 0.085$	m3	
		管φ200 $\pi/4 \times 0.216^2 \times$	m3	
		計 0.915	m3	
		2.209 - 0.915	= 1.294 m3	1.294 m3
	建設発生土処分	土砂運搬	地山土量	= m3
		クラムシェル積込		
発生土処理			= m3	
機械退避・再設置工	機械退避・再設置工	$n = \frac{T1 + T2 + T3 + T4 + T5}{8}$		
		n: 機械退避・再設置回数		
		T1: 機械設置撤去時間 (1.4h)		
		T2: 圧入掘削積込時間 (H2×ah)		
		H2: 掘削深 a:1m当り施工時間 (h/m)		
		T3: ケーシング溶接時間 (L×0.1h) L:溶接延長		
		T4: 底盤コンクリート打設時間 (V×0.2h)		
		V:底盤コンクリート量 (m3)		
		T5: ケーシング引上げ時間 (t1×0.5h)		
		t1:ケーシング引上げ長 (m)		
	T1 = 1.40			
	T2 = × 0.90 + × 0.80			
	× 1.00 =			
	T3 = × 0.10 =			
	T4 = × 0.20 =			
	T5 = × 0.50 =			
	$n = \frac{1.40 + + + +}{8}$			
	= 0.18 ⇒ (少数以下切捨て) =	回		
	「R7年度 下水標準歩掛 P.435」「2020年版日推協発進及び到達編 P.215」より			

()

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式				数 量
	M-2116-1-1 到達立坑 鋼製ケーシング式土留工 (揺動圧入)	φ 1500mm t=12mm				
	圧入掘削積込み工	「2020年版日推協発進及び到達編 P.211」より		H≤9.0	9.0<H≤15.0	計
	粘性土	N≤5 5<N≤30	既設舗装厚=5cm			m m
	砂質土	N≤30 30<N≤50 50<N		4.236		4.236 m m m
	砂礫土 (礫径200mm以下)	N≤30 30<N≤50 50<N				m m m
				合計 =		4.236 m
	ケーシング溶接工 「2020年版日推協発進及び到達編 P.211」より			4.90	× 1	= 1 箇所 = 4.90 m
	ケーシング引上げ工 「R7年度 下水標準歩掛 P.431」より					= 0.90 m
	底盤コンクリート打設工 「R7年度 下水標準歩掛 P.434」 「2020年版日推協発進及び到達編 P.202」より 30-18-20N(25N) 水中コンクリート					= 1 箇所 = 1.80 m ³
	スライム処理工 「R7年度 下水標準歩掛 P.438」より (泥水運搬処理) φ 1500mm					= 1 回 = 0.70 m ³
	機械設置撤去工					= 1 回
	鋼製ケーシング残置 刃先 呼び径1500mm					= 1 個
	鋼製ケーシング φ 1500mm t=12mm		m		本	
	先頭ケーシング	2.400	×	1	=	2.400 m
	中間ケーシング			1	=	
	最終ケーシング	1.100	×	1	=	1.100 m
				合計 =		3.500 m
	仮設ケーシング損料 呼び径1500mm		L=2.0~2.5 m/本			= 1 本
	スクラップ 「2020年版日推協発進及び到達編 P.207」より 呼び径1500mm ケーシング単位重量 0.094 t/m ²					
	撤去分		×	0.094	=	t
	鏡切り分 (管外径: 0.216+余裕: 0.10=0.316、管外径: 0.165+余裕: 0.10=0.265)					
	φ 200 π/4 × 0.316 ² × 0.094 × 1				=	0.007
	φ 150 π/4 × 0.265 ² × 0.094 ×				=	t
				合計 =		0.007 t
	鋼材運搬重量 「2025 建設物価基礎価格表 P.224」より 搬入出 呼び径1500mm 呼び径1500mm L=2.0~2.5m 仮設ケーシング重量 1.350 t/本 L≤12m 仮設ケーシング 呼び径1500mm L=2.0~2.5m/本					= 1.35 t

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式	数 量
管路土工	M-2116-1-1 到達立坑 圧入掘削土量	小型立坑(鋼製ケーシング式) φ1500mm t=12mm $\pi/4 \times 1.524^2 \times 4.236$	= 7.727 m3
建設発生土処分	土砂運搬 クラムシェル積込	地山土量 7.727	= 7.727 m3
	発生土処理		= 7.727 m3
機械退避・再設置工		$n = \frac{T1 + T2 + T3 + T4 + T5}{8}$ <p>n: 機械退避・再設置回数 T1: 機械設置撤去時間 (1.4h) T2: 圧入掘削積込時間 (H2×ah) H2: 掘削深 a:1m当り施工時間 (h/m) T3: ケーシング溶接時間 (L×0.1h) L:溶接延長 T4: 底盤コンクリート打設時間 (V×0.2h) V:底盤コンクリート量 (m3) T5: ケーシング引上げ時間 (t1×0.5h) t1:ケーシング引上げ長 (m)</p> $T1 = 1.40$ $T2 = 4.236 \times 0.90 + \quad \times 0.80$ $\quad \times 1.00 = 3.81$ $T3 = 4.90 \times 0.10 = 0.49$ $T4 = 1.80 \times 0.20 = 0.36$ $T5 = 0.90 \times 0.50 = 0.45$ $n = \frac{1.40 + 3.81 + 0.49 + 0.36 + 0.45}{8}$ $= 0.81 \Rightarrow \quad (\text{少数以下切捨て}) = \quad \text{回}$	
「R7年度 下水標準歩掛 P.435」「2020年版日推協発進及び到達編 P.215」より			

()

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式			数 量
	M-2128-1 発進立坑	φ 2000mm t=12mm			
	鋼製ケーシング土留工 (揺動圧入)				
	圧入掘削積込み工	「2020年版日推協発進及び到達編 P.211」より	H ≤ 9.0	9.0 < H ≤ 15.0	計
	粘性土	N ≤ 5 5 < N ≤ 30	既設舗装厚 = 5cm		m m
	砂質土	N ≤ 30 30 < N ≤ 50 50 < N		5.170	5.170 m m m
	砂礫土 (礫径200mm以下)	N ≤ 30 30 < N ≤ 50 50 < N			m m m
				合計 =	5.170 m
	ケーシング溶接工 「2020年版日推協発進及び到達編 P.211」より		6.50 × 1	=	1 箇所 6.50 m
	ケーシング引上げ工 「R7年度 下水標準歩掛 P.431」より			=	0.90 m
	ケーシング撤去工			=	1 箇所
	ケーシング切断工	$\pi \times 2.000 + 1.480 \times 4$		=	12.203 m
	底盤コンクリート打設工 「R7年度 下水標準歩掛 P.434」 「2020年版日推協発進及び到達編 P.202」より			=	1 箇所
	30-18-20N(25N) 水中コンクリート			=	3.10 m ³
	スライム処理工 「R7年度 下水標準歩掛 P.438」より			=	1 回
	(泥水運搬処理) φ 2000mm			=	1.20 m ³
	機械設置撤去工			=	1 回
	鋼製ケーシング残置			=	
	刃先 呼び径2000mm			=	1 個
	鋼製ケーシング	φ 2000mm t=12mm	m	本	
	先頭ケーシング	2.400	×	1 =	2.400 m
	中間ケーシング			1 =	
	最終ケーシング	2.100	×	1 =	2.100 m
				合計 =	4.500 m
	仮設ケーシング損料	呼び径2000mm	L=2.0~2.5 m/本	=	1 本
	スクラップ	「2020年版日推協発進及び到達編 P.207」より			
		呼び径2000mm ケーシング単位重量		0.094 t/m ²	
		↓			
	撤去分	1.480	×	0.094 =	0.139 t
	鏡切り分 (管外径 : 0.216+余裕 : 0.10=0.316、管外径 : 0.165+余裕 : 0.10=0.265)				
	φ 200 $\pi/4 \times 0.316^2 \times 0.094 \times 4$			=	0.030
	φ 150 $\pi/4 \times 0.265^2 \times 0.094 \times$			=	t
				合計 =	0.169 t
	鋼材運搬重量 「2025 建設物価基礎価格表 P.224」より				
	搬入出	呼び径2000mm	呼び径2000mm L=2.0~2.5m 仮設ケーシング重量	2.100 t/本	
		L ≤ 12m	仮設ケーシング 呼び径2000mm L=2.0~2.5m/本	=	2.10 t

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式	数 量
管路土工	M-2128-1 発進立坑	小型立坑(鋼製ケーシング式) φ2000mm t=12mm	
	圧入掘削土量	$\pi/4 \times 2.024^2 \times 5.170$	= 16.634 m3
管路埋戻	砂埋戻し	(立坑基礎～GL-1.50mまで)	
		$\pi/4 \times 2.000^2 \times 2.720$	= 8.545
		控除量	
		調整Co $\pi/4 \times 2.000^2 \times 0.090$	= 0.283 m3
		MH底版 $\pi/4 \times 1.450^2 \times 0.150$	= 0.248 m3
		MH直壁 $\pi/4 \times 1.400^2 \times 2.480$	= 3.818 m3
		管φ200 $\pi/4 \times 0.216^2 \times 0.300$	
		$\times 4$	= 0.044 m3
		計	4.393 m3
		8.545 - 4.393	= 4.152 m3
発生土埋戻	発生土埋戻	(GL-1.50m～路盤下まで)	
		$\pi/4 \times 2.000^2 \times (1.500 - 0.250)$	= 3.927 m3
		控除量	
		MH直壁 $\pi/4 \times 1.400^2 \times 0.820$	= 1.262 m3
		MH斜壁 $\pi/4 \times (1.400^2 + 0.820^2) / 2$	= 0.223 m3
		管φ200 $\pi/4 \times 0.216^2 \times 0.300$	
		\times	= m3
		計	1.485 m3
		3.927 - 1.485	= 2.442 m3
		2.442 m3	
建設発生土処分	土砂運搬	地山土量 16.634 - 2.442 /0.9	= 13.921 m3
	クラムシェル積込		
発生土処理	発生土処理		= 13.921 m3
	発生土処理		
機械退避・再設置工	機械退避・再設置工	$n = \frac{T1 + T2 + T3 + T4 + T5}{8}$	
		n: 機械退避・再設置回数	
		T1: 機械設置撤去時間 (1.4h)	
		T2: 圧入掘削積込時間 (H2×ah)	
		H2: 掘削深 a:1m当り施工時間 (h/m)	
		T3: ケーシング溶接時間 (L×0.1h) L:溶接延長	
		T4: 底盤コンクリート打設時間 (V×0.2h)	
		V:底盤コンクリート量 (m3)	
		T5: ケーシング引上げ時間 (t1×0.5h)	
		t1:ケーシング引上げ長 (m)	
T1 = 1.40			
T2 = 5.170 × 0.90 + × 0.80			
× 1.00 = 4.65			
T3 = 6.50 × 0.10 = 0.65			
T4 = 3.10 × 0.20 = 0.62			
T5 = 0.90 × 0.50 = 0.45			
$n = \frac{1.40 + 4.65 + 0.65 + 0.62 + 0.45}{8}$			
= 0.97 ⇒ (少数以下切捨て)	= 回		
[R7年度 下水標準歩掛 P.435]「2020年版日推協発進及び到達編 P.215」より			
仮設架台設置・撤去工	H型鋼 H250×250 (リース材)	(1.300 × 6) × 80 kg/m	= 0.624 t
	敷鉄板	(1.900 ² × π/4) × 26.8 kg/m2	= 0.076 t
			= 0.700 t

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式				数 量
	M-2115-1-1 到達立坑	φ 1500mm t=12mm				
	鋼製ケーシング土留工 (揺動圧入)					
	圧入掘削積込み工	「2020年版日推協発進及び到達編 P. 211」より		H ≤ 9.0	9.0 < H ≤ 15.0	計
	粘性土	N ≤ 5 5 < N ≤ 30	既設舗装厚 = 5cm			m m
	砂質土	N ≤ 30 30 < N ≤ 50 50 < N		4.876		4.876 m m m
	砂礫土 (礫径200mm以下)	N ≤ 30 30 < N ≤ 50 50 < N				m m m
				合計 =		4.876 m
	ケーシング溶接工 「2020年版日推協発進及び到達編 P. 211」より			4.90 ×	1	= 1 箇所 = 4.90 m
	ケーシング引上げ工 「R7年度 下水標準歩掛 P. 431」より					= 0.90 m
	ケーシング撤去工					= 1 箇所
	ケーシング切断工	π × 1.500	+ 1.374 × 4			= 10.208 m
	底盤コンクリート打設工 「R7年度 下水標準歩掛 P. 434」 「2020年版日推協発進及び到達編 P. 202」より					= 1 箇所 = 1.80 m ³
	30-18-20N(25N) 水中コンクリート					
	スライム処理工 「R7年度 下水標準歩掛 P. 438」より					= 1 回
	(泥水運搬処理)	φ 1500mm				= 0.70 m ³
	機械設置撤去工					= 1 回
	鋼製ケーシング残置					
	刃先 呼び径1500mm					= 1 個
	鋼製ケーシング	φ 1500mm t=12mm	m	本		
	先頭ケーシング		2.400 ×	1	=	2.400 m
	中間ケーシング			1	=	
	最終ケーシング		1.700 ×	1	=	1.700 m
			合計 =			4.100 m
	仮設ケーシング損料	呼び径1500mm	L=2.0~2.5 m/本			= 1 本
	スクラップ	「2020年版日推協発進及び到達編 P. 207」より				
		呼び径1500mm	ケーシング単位重量	0.094 t/m ²		
			↓			
	撤去分		1.374 ×	0.094	=	0.129 t
	鏡切り分	(管外径 : 0.216+余裕 : 0.10=0.316、管外径 : 0.165+余裕 : 0.10=0.265				
	φ 200	π/4 × 0.316 ² ×	0.094 ×	5	=	0.037
	φ 150	π/4 × 0.265 ² ×	0.094 ×		=	t
		合計 =				0.166 t
	鋼材運搬重量 「2025 建設物価基礎価格表 P. 224」より					
	搬入出	呼び径1500mm	呼び径1500mm L=2.0~2.5m 仮設ケーシング重量	1.350 t/本		
			L ≤ 12m			
		仮設ケーシング 呼び径1500mm	L=2.0~2.5m/本			= 1.35 t

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式	数 量	
管路土工	M-2115-1-1 到達立坑	小型立坑(鋼製ケーシング式) φ1500mm t=12mm		
	圧入掘削土量	$\pi/4 \times 1.524^2 \times 4.876$	= 8.895 m3	
管路埋戻	砂埋戻し	(立坑基礎～GL-1.50mまで)		
		$\pi/4 \times 1.500^2 \times 2.426$	= 4.287	
		控除量		
		調整Co	$\pi/4 \times 1.500^2 \times$	= m3
		MH底版	$\pi/4 \times 1.100^2 \times 0.130$	= 0.124 m3
		MH直壁	$\pi/4 \times 1.050^2 \times 2.296$	= 1.988 m3
		管φ200	$\pi/4 \times 0.216^2 \times$	
			$\times 5$	= 0.041 m3
			計	2.153 m3
			4.287 - 2.153	= 2.134 m3
発生土埋戻	発生土埋戻	(GL-1.50m～路盤下まで)		
		$\pi/4 \times 1.500^2 \times (1.500 - 0.250)$	= 2.209 m3	
		控除量		
		MH直壁	$\pi/4 \times 1.050^2 \times 0.704$	= 0.610 m3
		MH斜壁	$\pi/4 \times (1.050^2 + 0.820^2)$	
			$/ 2 \times 0.546$	= 0.159 m3
		管φ200	$\pi/4 \times 0.216^2 \times 0.225$	
			\times	= m3
			計	0.769 m3
			2.209 - 0.769	= 1.440 m3
建設発生土処分	土砂運搬	地山土量	8.895 - 1.440 /0.9 = 7.295 m3	
	クラムシェル積込			
	発生土処理		= 7.295 m3	
機械退避・再設置工		$n = \frac{T1 + T2 + T3 + T4 + T5}{8}$ <p>n: 機械退避・再設置回数 T1: 機械設置撤去時間 (1.4h) T2: 圧入掘削積込時間 (H2×ah) H2: 掘削深 a:1m当り施工時間 (h/m) T3: ケーシング溶接時間 (L×0.1h) L:溶接延長 T4: 底盤コンクリート打設時間 (V×0.2h) V:底盤コンクリート量 (m3) T5: ケーシング引上げ時間 (t1×0.5h) t1:ケーシング引上げ長 (m)</p> $T1 = 1.40$ $T2 = 4.876 \times 0.90 + \times 0.80$ $\times 1.00 = 4.39$ $T3 = 4.90 \times 0.10 = 0.49$ $T4 = 1.80 \times 0.20 = 0.36$ $T5 = 0.90 \times 0.50 = 0.45$ $n = \frac{1.40 + 4.39 + 0.49 + 0.36 + 0.45}{8}$ $= 0.89 \Rightarrow \text{(少数以下切捨て)} = \text{回}$		
		「R7年度 下水標準歩掛 P.435」「2020年版日推協発進及び到達編 P.215」より		

()

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式			数	量
	M-2115-2 発進立坑	φ 2000mm t=12mm				
	鋼製ケーシング土留工 (揺動圧入)					
	圧入掘削積込み工	「2020年版日推協発進及び到達編 P. 211」より		H ≤ 9.0	9.0 < H ≤ 15.0	計
	粘性土	N ≤ 5 5 < N ≤ 30	既設舗装厚 = 5cm			m m
	砂質土	N ≤ 30 30 < N ≤ 50 50 < N		4.918		4.918 m m m
	砂礫土 (礫径200mm以下)	N ≤ 30 30 < N ≤ 50 50 < N				m m m
				合計 =		4.918 m
	ケーシング溶接工 「2020年版日推協発進及び到達編 P. 211」より			6.50	×	1 = 1 箇所 6.50 m
	ケーシング引上げ工 「R7年度 下水標準歩掛 P. 431」より					= 0.90 m
	ケーシング撤去工					= 1 箇所
	ケーシング切断工		$\pi \times 2.000 + 1.432 \times 4$			= 12.011 m
	底盤コンクリート打設工 「R7年度 下水標準歩掛 P. 434」 「2020年版日推協発進及び到達編 P. 202」より					= 1 箇所 3.10 m ³
	30-18-20N(25N) 水中コンクリート					
	スライム処理工 「R7年度 下水標準歩掛 P. 438」より					= 1 回
	(泥水運搬処理)		φ 2000mm			= 1.20 m ³
	機械設置撤去工					= 1 回
	鋼製ケーシング残置					
	刃先		呼び径2000mm			= 1 個
	鋼製ケーシング	φ 2000mm t=12mm	m	本		
	先頭ケーシング		2.400	×	1 =	2.400 m
	中間ケーシング				1 =	
	最終ケーシング		1.800	×	1 =	1.800 m
			合計 =			4.200 m
	仮設ケーシング損料	呼び径2000mm	L=2.0~2.5 m/本			= 1 本
	スクラップ	「2020年版日推協発進及び到達編 P. 207」より				
		呼び径2000mm	ケーシング単位重量	0.094 t/m ²		
			↓			
	撤去分		1.432	×	0.094 =	0.135 t
	鏡切り分	(管外径 : 0.216+余裕 : 0.10=0.316、管外径 : 0.165+余裕 : 0.10=0.265)				
	φ 200	$\pi/4 \times 0.316^2 \times 0.094 \times 2$				= 0.015
	φ 150	$\pi/4 \times 0.265^2 \times 0.094 \times$				= t
		合計 =				0.150 t
	鋼材運搬重量 「2025 建設物価基礎価格表 P. 224」より					
	搬入出	呼び径2000mm	呼び径2000mm L=2.0~2.5m 仮設ケーシング重量	2.102 t/本		
			L ≤ 12m			
		仮設ケーシング 呼び径2000mm	L=2.0~2.5m/本			= 2.10 t

種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	規格・仕様・計算式	数 量
管路土工	M-2115-2 発進立坑	小型立坑(鋼製ケーシング式) φ2000mm t=12mm	
	圧入掘削土量	$\pi/4 \times 2.024^2 \times 4.918$	= 15.823 m3
管路埋戻	砂埋戻し	(立坑基礎～GL-1.50mまで)	
		$\pi/4 \times 2.000^2 \times 2.468$	= 7.753
		控除量	
		調整Co $\pi/4 \times 2.000^2 \times 0.160$	= 0.503 m3
		MH底版 $\pi/4 \times 1.100^2 \times 0.130$	= 0.124 m3
		MH直壁 $\pi/4 \times 1.050^2 \times 2.178$	= 1.886 m3
		管φ200 $\pi/4 \times 0.216^2 \times 0.475$	
		$\times 2$	= 0.035 m3
		計	2.548 m3
		$7.753 - 2.548$	= 5.205 m3
発生土埋戻		(GL-1.50m～路盤下まで)	
		$\pi/4 \times 2.000^2 \times (1.500 - 0.250)$	= 3.927 m3
		控除量	
		MH直壁 $\pi/4 \times 1.050^2 \times 0.822$	= 0.712 m3
		MH斜壁 $\pi/4 \times (1.050^2 + 0.820^2) / 2$	= 0.125 m3
		管φ200 $\pi/4 \times 0.216^2 \times 0.475$	
		\times	= m3
		計	0.837 m3
		$3.927 - 0.837$	= 3.090 m3
		建設発生土処分	
土砂運搬			
クラムシェル積込	地山土量 15.823 - 3.090 /0.9	= 12.390 m3	
発生土処理		= 12.390 m3	
機械退避・再設置工			
	$n = \frac{T1 + T2 + T3 + T4 + T5}{8}$ <p>n: 機械退避・再設置回数 T1: 機械設置撤去時間 (1.4h) T2: 圧入掘削積込時間 (H2×ah) H2: 掘削深 a:1m当り施工時間 (h/m) T3: ケーシング溶接時間 (L×0.1h) L:溶接延長 T4: 底盤コンクリート打設時間 (V×0.2h) V:底盤コンクリート量 (m3) T5: ケーシング引上げ時間 (t1×0.5h) t1:ケーシング引上げ長 (m)</p> $T1 = 1.40$ $T2 = 4.918 \times 0.90 + \quad \times 0.80$ $\quad \times 1.00 = 4.43$ $T3 = 6.50 \times 0.10 = 0.65$ $T4 = 3.10 \times 0.20 = 0.62$ $T5 = 0.90 \times 0.50 = 0.45$ $n = \frac{1.40 + 4.43 + 0.65 + 0.62 + 0.45}{8}$ $= 0.94 \Rightarrow \quad (\text{少数以下切捨て}) = \quad \text{回}$		
	「R7年度 下水標準歩掛 P.435」「2020年版日推協発進及び到達編 P.215」より		

()

3.マンホール工

開削工法総括表（組立2号マンホール）

【補助】

(6工区)

工種 レベル2	種別 レベル3	細別・名称 レベル4	仕様	単位					合計	摘要
組立マンホール工	組立2号マンホール			箇所	1				1	
		マンホール蓋（受枠共）	T-25 梯子無	組	1				1	
		〃	T-14 梯子無	組						
		調整金具	h=25	個	1				1	
		〃	h=45	個						
		調整リング	h=50	個						
			h=100	個	1				1	
			h=150	個						
		庄版斜壁ブロック	h=150	個						
		斜壁ブロック	h=300	個						
		〃	h=450	個	1				1	
		〃	h=600	個						
		直壁ブロック	h=600	個						
		〃	h=900	個						
		〃	h=1200	個						
		〃	h=1500	個	1				1	
		〃	h=1800	個						
		〃	h=2100	個						
		〃	h=2400	個						
		管取付壁ブロック	h=600	個						
		〃	h=900	個						
		〃	h=1200	個						
		〃	h=1500	個						
		〃	h=1800	個	1				1	
		〃	h=2100	個						
		〃	h=2400	個						
		底板ブロック	h=150	個	1				1	
		転落防止はしご		個	1				1	
		ブロック据付工	H≤4.0	箇所	1				1	
		底部工		箇所	1				1	
インポートコンクリート		m ³ /箇所	0.32				0.3			
モルタル上塗り	配合1:2	m ² /箇所	1.34				1.3			
削孔	φ100	箇所								
	φ150	箇所								
	φ200	箇所	3				3			
マンホール可とう継手	φ200	個	4				4			
調整コンクリート		m ³	0.28				0.3			

組立式2号マンホール底部工(φ200)

名称	種別	計	算	式	単位	数量
設置箇所					箇所	1
マンホール面積	内径φ1200mm	A=	$1.20^2 \times \pi/4$	=	1.131	m ² -
コンクリート工		V1=	$1.131 \times (0.21 + \overset{\text{本管}}{0.20} / 2)$	=	0.351	m ³
	控除量①	V2=	$1.200 \times 0.200^2 \times \pi/4 / 2$	=	-0.019	m ³
	控除量②	V2=	$0.600 \times 0.200^2 \times \pi/4 / 2$	=	-0.009	m ³
	控除量③	V2=	$0.600 \times \quad^2 \times \pi/4 / 2$	=		m ³
				(合計)	= 0.323	m ³ 0.32
砕石基礎工	RC-40 t=20cm	A=	$\quad^2 \times \pi/4$	=		m ²
モルタル上塗り工		A=	1.131	=	1.131	m ²
		A=	$1.200 \times 0.200 \times \pi / 2$	=	0.377	m ²
		A=	$0.600 \times 0.200 \times \pi / 2$	=	0.188	m ²
		A=	$0.600 \times \quad \times \pi / 2$	=		m ²
	控除量①	A=	1.200×0.200	=	-0.24	m ²
	控除量②	A=	0.600×0.200	=	-0.12	m ²
	控除量③	A=	$0.600 \times \quad$	=		m ²
				(合計)	= 1.336	m ² 1.34

組立マンホール総括表 (組立1号マンホール)

【補助】
(6工区)

工種 レベル2	種別 レベル3	細別・名称 レベル4	仕様	単位					合計	摘要
組立マンホール工	組立1号マンホール			箇所	3				3	
		マンホール蓋 (受枠共)	T-25 梯子無	組	3				3	
		〃	T-14 梯子無	組						
		調整金具	h=25	個	1				1	
		〃	h=45	個	2				2	
		調整リング	h=50	個	1				1	
			h=100	個	2				2	
			h=150	個						
		庄版斜壁ブロック	h=150	個						
		斜壁ブロック	h=300	個	1				1	
		〃	h=450	個	1				1	
		〃	h=600	個	1				1	
		直壁ブロック	h=600	個						
		〃	h=900	個	1				1	
		〃	h=1200	個	1				1	
		〃	h=1500	個	1				1	
		〃	h=1800	個						
		管取付壁ブロック	h=600	個						
		〃	h=900	個						
		〃	h=1200	個						
		〃	h=1500	個	1				1	
		〃	h=2100	個	2				2	
		底版ブロック	h=130	個	3				3	
		転落防止はしご	(平均H=3.612)	個	3				3	
		ブロック据付工	3.0<H≤4.0	箇所	3				3	
		底部工		箇所	3				3	
		インポートコンクリート		m ³ /箇所	0.15				0.2	
		モルタル上塗り	配合1:2 t=20cm	m ² /箇所	0.74				0.7	
		基礎碎石	RC-40	m ² /箇所						
		削孔	φ100	箇所						
			φ150	箇所						
			φ200	箇所	6				6	
			φ250	箇所						
		マンホール可とう継手	φ200	個	6				6	
		調整コンクリート		m ³	0.50				0.5	

組立式 1 号マンホール底部工 (φ200)

名 称	種別	計 算 式	単 位	数 量
設置箇所			箇所	1
マンホール面積	内径φ900mm	$A = 0.90^2 \times \pi / 4 = 0.636$	m ²	-
コンクリート工		$V1 = 0.636 \times (0.16 + \overset{\text{本管}}{0.20} / 2) = 0.165$	m ³	
	控除量①	$V2 = 0.900 \times 0.200^2 \times \pi / 4 / 2 = -0.014$	m ³	
	控除量②	$V2 = 0.450 \times \quad^2 \times \pi / 4 / 2 =$	m ³	
	控除量③	$V2 = 0.450 \times \quad^2 \times \pi / 4 / 2 =$	m ³	
		(合計) = 0.151	m ³	0.15
砕石基礎工	RC-40 t=20cm	$A = \quad^2 \times \pi / 4 =$	m ²	
モルタル上塗り工		$A = 0.636 = 0.636$	m ²	
		$A = 0.900 \times 0.200 \times \pi / 2 = 0.283$	m ²	
		$A = 0.450 \times \quad \times \pi / 2 =$	m ²	
		$A = 0.450 \times \quad \times \pi / 2 =$	m ²	
	控除量①	$A = 0.900 \times 0.200 = -0.18$	m ²	
	控除量②	$A = 0.450 \times =$	m ²	
	控除量③	$A = 0.450 \times =$	m ²	
		(合計) = 0.739	m ²	0.74

4.薬液注入工

二重管ストレーナー（複相式）薬液注入力

1. 薬液注入量の算出

注入位置 **M-2128-2**
坑口

使用する土質データ

Bor 1 より

間隙率（ ρ ）×注入充填率（ α ）による注入率はH.25白本参考資料P.18より引用。

注入幅 W	注入延長 L'	注入面積 A=W・L'	土質	N 値	注入率 m= $\rho\alpha$ (%)	注入高さ ℓ (m)	注入量 V=A・m・ ℓ
1.30	1.00	1.300 (図面より)	粘性土	0~4	28.0		
				4~8	24.0		
				8~15			
			砂質土	0~10	40.5	1.300	0.684
				10~30	40.5		
				30以上	31.5		
			礫質土	10~30	36.0		
				30~50	36.0		
				50以上	31.5		
			合計			1.300	0.684

II
1式当り注入量

1本当りの薬液注入面積 $A' = 1.000 \text{ m}^2$
打設間隔1.0m (R.2白本P.60) より、注入面積は $1.00\text{m} \times 1.00\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

薬液注入本数 (P) **2本**

1本当り薬液注入量 (Q_s) $V \div P = 0.684 \div 2 = \mathbf{0.342 \text{ KL/本}}$
1本当り薬液注入量をリットルに換算する。 $0.342 \div 1,000 = 342 \text{ } \ell$

2. 1本当り施工時間

1本当り施工時間 (T_s) $T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = \mathbf{61.76 \text{ 分}}$

機械準備時間 (T_1) **14.00 分**
機械移動・機械据付及び注入後の器具洗浄時間 (R.2白本P.63)

削孔時間 (T_2) **20.70 分**
 $\Sigma [(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$ (R.2白本P.63)

土質	削孔長 L	削孔単位時間 γ_i	削孔時間 L × γ_i
粘性土		4.0	
砂質土	4.140	5.0	20.70
砂礫土		8.0	
合計	4.140		20.70

注入時間 (T_3) $Q_s \div q = 342 \div 16 = 21.38 \text{ 分}$
(単位時間当り注入量：複相方式 $q = 16 \text{ l/min}$) (R.2白本P.64)

土被り引抜時間 (T_4) $(L - \ell) \times 2.0 = (4.140 - 1.300) \times 2.0 = 5.68 \text{ 分}$
土被り長 (m) = 削孔長の合計 (L) - 注入高さ (ℓ) (R.2白本P.64)

3. 1日当り施工本数

$N = (60 \times 6.3) \div T_s \times 2 \text{ セット}$
 $= (60 \times 6.3) \div 61.76 \times 2 \text{ セット}$
 $= \mathbf{12.2 \text{ 本/日}}$

4. 施工日数

$M = \text{注入本数 } P \div \text{日当り施工本数 } N$
 $= 2 \text{ 本} \div 12.2$
 $= \mathbf{0.2 \text{ 日}}$

二重管ストレーナー（複相式）薬液注入力

1. 薬液注入量の算出

注入位置 **M-2128-1**
坑口

使用する土質データ

Bor 1 より

間隙率（ ρ ）×注入充填率（ α ）による注入率はH.25白本参考資料P.18より引用。

	注 入 幅 W	注 入 延 長 L'	注 入 面 積 A=W・L'	土 質	N 値	注 入 率 m= $\rho\alpha$ (%)	注 入 高 さ ℓ (m)	注 入 量 V=A・m・ ℓ	
	1.30	2.00	2.600						
	(図面より)								
				粘 性 土	0～4	28.0			
					4～8	24.0			
					8～15				
					砂 質 土	0～10	40.5	1.300	1.369
						10～30	40.5		
						30以上	31.5		
				礫 質 土	10～30	36.0			
					30～50	36.0			
					50以上	31.5			
				合 計			1.300	1.369	

||
1式当り注入量

1本当りの薬液注入面積 $A' = 1.000 \text{ m}^2$
打設間隔1.0m (R.2白本P.60) より、注入面積は $1.00\text{m} \times 1.00\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

薬液注入本数 (P) 4本

1本当り薬液注入量 (Qs) $V \div P = 1.369 \div 4 = 0.342 \text{ KL/本}$
1本当り薬液注入量をリットルに換算する。 $0.342 \div 1,000 = 342 \text{ } \ell$

2. 1本当り施工時間

1本当り施工時間 (Ts) $T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 62.73 \text{ 分}$

機械準備時間 (T1) 14.00 分
機械移動・機械据付及び注入後の器具洗浄時間 (R.2白本P.63)

削孔時間 (T2) 21.39 分
 $\Sigma [(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$ (R.2白本P.63)

土 質	削 孔 長 L	削孔単位時間 γ_i	削孔時間 L × γ_i
粘 性 土		4.0	
砂 質 土	4.278	5.0	21.39
砂 礫 土		8.0	
合 計	4.278		21.39

注入時間 (T3) $Q_s \div q = 342 \div 16 = 21.38 \text{ 分}$
(単位時間当り注入量：複相方式 $q = 16 \text{ l/min}$) (R.2白本P.64)

土被り引抜時間 (T4) $(L - \ell) \times 2.0 = (4.278 - 1.300) \times 2.0 = 5.96 \text{ 分}$
土被り長 (m) = 削孔長の合計 (L) - 注入高さ (ℓ) (R.2白本P.64)

3. 1日当り施工本数

$N = (60 \times 6.3) \div T_s \times 2 \text{ セット}$
 $= (60 \times 6.3) \div 62.73 \times 2 \text{ セット}$
 $= 12.1 \text{ 本/日}$

4. 施工日数

$M = \text{注入本数 } P \div \text{日当り施工本数 } N$
 $= 4 \text{ 本} \div 12.1$
 $= 0.3 \text{ 日}$

二重管ストレーナー（複相式）薬液注入力

1. 薬液注入量の算出

注入位置 **M-2128-1**
坑口

使用する土質データ

Bor 1 より

間隙率（ ρ ）×注入充填率（ α ）による注入率はH.25白本参考資料P.18より引用。

注入幅 W	注入延長 L'	注入面積 A=W・L'	土質	N 値	注入率 m= $\rho\alpha$ (%)	注入高さ ℓ (m)	注入量 V=A・m・ ℓ
1.30	2.00	2.600 (図面より)	粘性土	0~4	28.0		
				4~8	24.0		
				8~15			
			砂質土	0~10	40.5	1.300	1.369
				10~30	40.5		
				30以上	31.5		
			礫質土	10~30	36.0		
				30~50	36.0		
				50以上	31.5		
			合計			1.300	1.369

||
1式当り注入量

1本当りの薬液注入面積 $A' = 1.000 \text{ m}^2$
打設間隔1.0m (R.2白本P.60) より、注入面積は $1.00\text{m} \times 1.00\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

薬液注入本数 (P) **4本**

1本当り薬液注入量 (Qs) $V \div P = 1.369 \div 4 = 0.342 \text{ KL/本}$
1本当り薬液注入量をリットルに換算する。 $0.342 \div 1,000 = 342 \text{ } \ell$

2. 1本当り施工時間

1本当り施工時間 (Ts) $T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 62.59 \text{ 分}$

機械準備時間 (T1) 14.00 分
機械移動・機械据付及び注入後の器具洗浄時間 (R.2白本P.63)

削孔時間 (T2) 21.29 分
 $\Sigma [(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$ (R.2白本P.63)

土質	削孔長 L	削孔単位時間 γ_i	削孔時間 L × γ_i
粘性土		4.0	
砂質土	4.258	5.0	21.29
砂礫土		8.0	
合計	4.258		21.29

注入時間 (T3) $Q_s \div q = 342 \div 16 = 21.38 \text{ 分}$
(単位時間当り注入量：複相方式 $q = 16 \text{ l/min}$) (R.2白本P.64)

土被り引抜時間 (T4) $(L - \ell) \times 2.0 = (4.258 - 1.300) \times 2.0 = 5.92 \text{ 分}$
土被り長 (m) = 削孔長の合計 (L) - 注入高さ (ℓ) (R.2白本P.64)

3. 1日当り施工本数

$N = (60 \times 6.3) \div T_s \times 2 \text{ セット}$
 $= (60 \times 6.3) \div 62.59 \times 2 \text{ セット}$
 $= 12.1 \text{ 本/日}$

4. 施工日数

$M = \text{注入本数 } P \div \text{日当り施工本数 } N$
 $= 4 \text{ 本} \div 12.1$
 $= 0.3 \text{ 日}$

二重管ストレーナー（複相式）薬液注入力

1. 薬液注入量の算出

注入位置 **M-2128-1**
坑口

使用する土質データ

Bor 1 より

間隙率（ ρ ）×注入充填率（ α ）による注入率はH.25白本参考資料P.18より引用。

	注入幅 W	注入延長 L'	注入面積 A=W・L'	土質	N 値	注入率 m= $\rho\alpha$ (%)	注入高さ ℓ (m)	注入量 V=A・m・ ℓ
	1.30	2.00	2.600 (図面より)	粘性土	0~4	28.0		
					4~8	24.0		
					8~15			
				砂質土	0~10		1.300	1.369
					10~30	40.5		
					30以上	31.5		
				礫質土	10~30	36.0		
					30~50	36.0		
				50以上	31.5			
				合計			1.300	1.369

||
1式当り注入量

1本当りの薬液注入面積 $A' = 1.000 \text{ m}^2$
打設間隔1.0m (R.2白本P.60) より、注入面積は $1.00\text{m} \times 1.00\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

薬液注入本数 (P) **4本**

1本当り薬液注入量 (Q_s) $V \div P = 1.369 \div 4 = 0.342 \text{ KL/本}$
1本当り薬液注入量をリットルに換算する。 $0.342 \div 1,000 = 342 \text{ } \ell$

2. 1本当り施工時間

1本当り施工時間 (T_s) $T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 57.29 \text{ 分}$

機械準備時間 (T_1) **14.00分**
機械移動・機械据付及び注入後の器具洗浄時間 (R.2白本P.63)

削孔時間 (T_2) **17.51分**
 $\Sigma [(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$ (R.2白本P.63)

土質	削孔長 L	削孔単位時間 γ_i	削孔時間 $L \times \gamma_i$
粘性土		4.0	
砂質土	3.501	5.0	17.51
砂礫土		8.0	
合計	3.501		17.51

注入時間 (T_3) $Q_s \div q = 342 \div 16 = 21.38 \text{ 分}$
(単位時間当り注入量：複相方式 $q = 16 \text{ l/min}$) (R.2白本P.64)

土被り引抜時間 (T_4) $(L - \ell) \times 2.0 = (3.501 - 1.300) \times 2.0 = 4.40 \text{ 分}$
土被り長 (m) = 削孔長の合計 (L) - 注入高さ (ℓ) (R.2白本P.64)

3. 1日当り施工本数

$N = (60 \times 6.3) \div T_s \times 2 \text{ セット}$
 $= (60 \times 6.3) \div 57.29 \times 2 \text{ セット}$
 $= 13.2 \text{ 本/日}$

4. 施工日数

$M = \text{注入本数 } P \div \text{日当り施工本数 } N$
 $= 4 \text{ 本} \div 13.2$
 $= 0.3 \text{ 日}$

二重管ストレーナー（複相式）薬液注入力

1. 薬液注入量の算出

注入位置 **M-2115-1-1**
坑口

使用する土質データ

Bor 1 より

間隙率 (ρ) × 注入充填率 (α) による注入率はH.25白本参考資料P.18より引用。

	注 入 幅 W	注 入 延 長 L'	注 入 面 積 A=W・L'	土 質	N 値	注 入 率 m= $\rho\alpha$ (%)	注 入 高 さ ℓ (m)	注 入 量 V=A・m・ ℓ	
	1.30	1.00	1.300						
	(図面より)								
				粘 性 土	0～4	28.0			
					4～8	24.0			
					8～15				
					砂 質 土	0～10	40.5	1.300	0.684
						10～30	40.5		
						30以上	31.5		
				礫 質 土	10～30	36.0			
					30～50	36.0			
					50以上	31.5			
				合 計			1.300	0.684	

||
1式当り注入量

1本当りの薬液注入面積 $A' = 1.000 \text{ m}^2$
打設間隔1.0m (R.2白本P.60) より、注入面積は $1.00\text{m} \times 1.00\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

薬液注入本数 (P) 2本

1本当り薬液注入量 (Q_s) $V \div P = 0.684 \div 2 = 0.342 \text{ KL/本}$
1本当り薬液注入量をリットルに換算する。 $0.342 \div 1,000 = 342 \text{ } \ell$

2. 1本当り施工時間

1本当り施工時間 (T_s) $T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 61.79 \text{ 分}$

機械準備時間 (T_1) 14.00 分
機械移動・機械据付及び注入後の器具洗浄時間 (R.2白本P.63)

削孔時間 (T_2) 20.72 分
 $\Sigma [(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$ (R.2白本P.63)

土 質	削 孔 長 L	削孔単位時間 γ_i	削孔時間 L × γ_i
粘 性 土		4.0	
砂 質 土	4.144	5.0	20.72
砂 礫 土		8.0	
合 計	4.144		20.72

注入時間 (T_3) $Q_s \div q = 342 \div 16 = 21.38 \text{ 分}$
(単位時間当り注入量：複相方式 $q = 16 \text{ l/min}$) (R.2白本P.64)

土被り引抜時間 (T_4) $(L - \ell) \times 2.0 = (4.144 - 1.300) \times 2.0 = 5.69 \text{ 分}$
土被り長 (m) = 削孔長の合計 (L) - 注入高さ (ℓ) (R.2白本P.64)

3. 1日当り施工本数

$N = (60 \times 6.3) \div T_s \times 2 \text{ セット}$
 $= (60 \times 6.3) \div 61.79 \times 2 \text{ セット}$
 $= 12.2 \text{ 本/日}$

4. 施工日数

$M = \text{注入本数 } P \div \text{日当り施工本数 } N$
 $= 2 \text{ 本} \div 12.2$
 $= 0.2 \text{ 日}$

二重管ストレーナー（複相式）薬液注入力

1. 薬液注入量の算出

注入位置 **M-2115-1-1**
坑口

使用する土質データ

Bor 1 より

間隙率（ ρ ）×注入充填率（ α ）による注入率はH.25白本参考資料P.18より引用。

注入幅 W	注入延長 L'	注入面積 A=W・L'	土質	N 値	注入率 m= $\rho\alpha$ (%)	注入高さ ℓ (m)	注入量 V=A・m・ ℓ
1.30	1.00	1.300 (図面より)	粘性土	0~4	28.0		
				4~8	24.0		
				8~15			
			砂質土	0~10	40.5	1.300	0.684
				10~30	40.5		
				30以上	31.5		
			礫質土	10~30	36.0		
				30~50	36.0		
				50以上	31.5		
			合計			1.300	0.684

II
1式当り注入量

1本当りの薬液注入面積 $A' = 1.000 \text{ m}^2$
打設間隔1.0m (R.2白本P.60) より、注入面積は $1.00\text{m} \times 1.00\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

薬液注入本数 (P) **2本**

1本当り薬液注入量 (Q_s) $V \div P = 0.684 \div 2 = 0.342 \text{ KL/本}$
1本当り薬液注入量をリットルに換算する。 $0.342 \div 1,000 = 342 \text{ } \ell$

2. 1本当り施工時間

1本当り施工時間 (T_s) $T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 61.44 \text{ 分}$

機械準備時間 (T_1) **14.00分**
機械移動・機械据付及び注入後の器具洗浄時間 (R.2白本P.63)

削孔時間 (T_2) **20.47分**
 $\Sigma [(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$ (R.2白本P.63)

土質	削孔長 L	削孔単位時間 γ_i	削孔時間 L × γ_i
粘性土		4.0	
砂質土	4.094	5.0	20.47
砂礫土		8.0	
合計	4.094		20.47

注入時間 (T_3) $Q_s \div q = 342 \div 16 = 21.38 \text{ 分}$
(単位時間当り注入量：複相方式 $q = 16 \text{ l/min}$) (R.2白本P.64)

土被り引抜時間 (T_4) $(L - \ell) \times 2.0 = (4.094 - 1.300) \times 2.0 = 5.59 \text{ 分}$
土被り長 (m) = 削孔長の合計 (L) - 注入高さ (ℓ) (R.2白本P.64)

3. 1日当り施工本数

$N = (60 \times 6.3) \div T_s \times 2 \text{ セット}$
 $= (60 \times 6.3) \div 61.44 \times 2 \text{ セット}$
 $= 12.3 \text{ 本/日}$

4. 施工日数

$M = \text{注入本数 } P \div \text{日当り施工本数 } N$
 $= 2 \text{ 本} \div 12.3$
 $= 0.2 \text{ 日}$

二重管ストレーナー（複相式）薬液注工

1. 薬液注入量の算出

注入位置 **M-2115-2**
坑口

使用する土質データ

Bor 1 より

間隙率（ ρ ）×注入充填率（ α ）による注入率はH.25白本参考資料P.18より引用。

注入幅 W	注入延長 L'	注入面積 A=W・L'	土質	N 値	注入率 m= $\rho\alpha$ (%)	注入高さ ℓ (m)	注入量 V=A・m・ ℓ
1.30	2.00	2.600 (図面より)	粘性土	0~4	28.0		
				4~8	24.0		
				8~15			
			砂質土	0~10	40.5	1.300	1.369
				10~30	40.5		
				30以上	31.5		
			礫質土	10~30	36.0		
				30~50	36.0		
				50以上	31.5		
			合計			1.300	1.369

II
1式当り注入量

1本当りの薬液注入面積 $A' = 1.000 \text{ m}^2$
打設間隔1.0m (R.2白本P.60) より、注入面積は $1.00\text{m} \times 1.00\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

薬液注入本数 (P) **4本**

1本当り薬液注入量 (Q_s) $V \div P = 1.369 \div 4 = 0.342 \text{ KL/本}$
1本当り薬液注入量をリットルに換算する。 $0.342 \div 1,000 = 342 \text{ } \ell$

2. 1本当り施工時間

1本当り施工時間 (T_s) $T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 60.96 \text{ 分}$

機械準備時間 (T_1) **14.00分**
機械移動・機械据付及び注入後の器具洗浄時間 (R.2白本P.63)

削孔時間 (T_2) **20.13分**
 $\Sigma [(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$ (R.2白本P.63)

土質	削孔長 L	削孔単位時間 γ_i	削孔時間 $L \times \gamma_i$
粘性土		4.0	
砂質土	4.026	5.0	20.13
砂礫土		8.0	
合計	4.026		20.13

注入時間 (T_3) $Q_s \div q = 342 \div 16 = 21.38 \text{ 分}$
(単位時間当り注入量：複相方式 $q = 16 \text{ l/min}$) (R.2白本P.64)

土被り引抜時間 (T_4) $(L - \ell) \times 2.0 = (4.026 - 1.300) \times 2.0 = 5.45 \text{ 分}$
土被り長 (m) = 削孔長の合計 (L) - 注入高さ (ℓ) (R.2白本P.64)

3. 1日当り施工本数

$N = (60 \times 6.3) \div T_s \times 2 \text{ セット}$
 $= (60 \times 6.3) \div 60.96 \times 2 \text{ セット}$
 $= 12.4 \text{ 本/日}$

4. 施工日数

$M = \text{注入本数 } P \div \text{日当り施工本数 } N$
 $= 4 \text{ 本} \div 12.4$
 $= 0.3 \text{ 日}$

二重管ストレーナー（複相式）薬液注入力

1. 薬液注入量の算出

注入位置 **M-2116-1-1**
坑口

使用する土質データ

Bor 1 より

間隙率（ ρ ）×注入充填率（ α ）による注入率はH.25白本参考資料P.18より引用。

注入幅 W	注入延長 L'	注入面積 A=W・L'	土質	N 値	注入率 m= $\rho\alpha$ (%)	注入高さ ℓ (m)	注入量 V=A・m・ ℓ
1.30	1.00	1.300 (図面より)	粘性土	0～4	28.0		
				4～8	24.0		
				8～15			
			砂質土	0～10	40.5	1.300	0.684
				10～30	40.5		
				30以上	31.5		
			礫質土	10～30	36.0		
				30～50	36.0		
				50以上	31.5		
			合計			1.300	0.684

||
1式当り注入量

1本当りの薬液注入面積 $A' = 1.000 \text{ m}^2$
打設間隔1.0m (R.2白本P.60) より、注入面積は $1.00\text{m} \times 1.00\text{m} = 1.000\text{m}^2$ とする。

薬液注入本数 (P) **2本**

1本当り薬液注入量 (Q_s) $V \div P = 0.684 \div 2 = 0.342 \text{ KL/本}$
1本当り薬液注入量をリットルに換算する。 $0.342 \div 1,000 = 342 \text{ } \ell$

2. 1本当り施工時間

1本当り施工時間 (T_s) $T_1 + T_2 + T_3 + T_4 = 57.31 \text{ 分}$

機械準備時間 (T_1) **14.00分**
機械移動・機械据付及び注入後の器具洗浄時間 (R.2白本P.63)

削孔時間 (T_2) **17.52分**
 $\Sigma [(\text{各土質毎の削孔長 } L) \times \text{各土質毎の削孔の単位時間 } \gamma_i]$ (R.2白本P.63)

土質	削孔長 L	削孔単位時間 γ_i	削孔時間 $L \times \gamma_i$
粘性土		4.0	
砂質土	3.504	5.0	17.52
砂礫土		8.0	
合計	3.504		17.52

注入時間 (T_3) $Q_s \div q = 342 \div 16 = 21.38 \text{ 分}$
(単位時間当り注入量：複相方式 $q = 16 \text{ l/min}$) (R.2白本P.64)

土被り引抜時間 (T_4) $(L - \ell) \times 2.0 = (3.504 - 1.300) \times 2.0 = 4.41 \text{ 分}$
土被り長 (m) = 削孔長の合計 (L) - 注入高さ (ℓ) (R.2白本P.64)

3. 1日当り施工本数

$N = (60 \times 6.3) \div T_s \times 2 \text{ セット}$
 $= (60 \times 6.3) \div 57.31 \times 2 \text{ セット}$
 $= 13.2 \text{ 本/日}$

4. 施工日数

$M = \text{注入本数 } P \div \text{日当り施工本数 } N$
 $= 2 \text{ 本} \div 13.2$
 $= 0.2 \text{ 日}$

5.工程表・工期算定書

工期算定表 (2/4)

M-2128-1 発進立坑

φ2000ケーシング 立坑深:4.220m

工種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	実働 日数	不稼働 係数	供用 日数	工期 日数	摘要
<立坑築造>									
機械掘削(先行掘削)	布掘り、BH平積0.6	m ³	16.634	30	0.6	1.7	1.0		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.16 表-1-6
機械設置撤去		回	1	5.9	0.2	1.7	0.3		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.436 1÷0.17(ラフテレシクレン)
圧入掘削積込み	1m当り施工時間=0.9(平均)	m	5.170	6.7	0.8	1.7	1.4		2019年推進工用機械器具損料参考資料P.810 1/0.9×(600÷100)
機械退避再設置		回		6.3	0.0	1.7	0.0		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.436 1÷0.16(ラフテレシクレン)
ケーシング溶接		m	6.5	33.3	0.2	1.7	0.3		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷(0.30÷10)(溶接工)
コンクリート打設	底盤	m ³	3.1	38.5	0.1	1.7	0.2		令和2年度下水道用設計標準歩掛表P.434 1÷(10÷0.26)(世話役)
ケーシング引上げ		m	0.90	16.1	0.1	1.7	0.2		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.441 1÷(0.62÷10)(TC)
養生一式		日					3.0		
				計	2.0		6.4	6	
<立坑撤去>									
ケーシング切断		m	12.203	33.3	0.4	1.7	0.7		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷(0.30÷10)(溶接工)
ケーシング撤去	φ2000	箇所	1	11.0	0.1	1.7	0.2		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷0.53×(760÷130)(C付T 4t級2.9t吊り)
埋戻し	購入土埋戻工(貧配合モルタル)	m ³	2.442	69	0.0	1.7	0.0		令和7年度土木工事標準積算基準書 18-②-43 (COポンプ車)
	砂埋戻工	m ³	4.152	37	0.1	1.7	0.2		令和7年度土木工事標準積算基準書 18-②-1(小規模)
				計	0.6		1.1	1	

工期算定表 (2/4)

M-2115-1-1 到達立坑

φ1500ケーシング 立坑深:3.926m

工種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	実働 日数	不稼働 係数	供用 日数	工期 日数	摘要
<立坑築造>									
機械掘削(先行掘削)	布掘り、BH平積0.6	m ³	8.895	30	0.3	1.7	0.5		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.16 表-1-6
機械設置撤去		回	1	5.9	0.2	1.7	0.3		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.436 1÷0.17(ラフテレックレーン)
圧入掘削積込み	1m当り施工時間=0.9(平均)	m	4.876	6.7	0.7	1.7	1.2		2019年推進工用機械器具損料参考資料P.810 1/0.9×(600÷100)
機械退避再設置		回		6.3	0.0	1.7	0.0		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.436 1÷0.16(ラフテレックレーン)
ケーシング溶接		m	4.9	33.3	0.1	1.7	0.2		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷(0.30÷10)(溶接工)
コンクリート打設	底盤	m ³	1.8	38.5	0.0	1.7	0.0		令和2年度下水道用設計標準歩掛表P.434 1÷(10÷0.26)(世話役)
ケーシング引上げ		m	0.90	16.1	0.1	1.7	0.2		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.441 1÷(0.62÷10)(TC)
養生一式		日					3.0		
				計	1.4		5.4	5	
<立坑撤去>									
ケーシング切断		m	10.208	33.3	0.3	1.7	0.5		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷(0.30÷10)(溶接工)
埋戻し	購入土埋戻工(貧配合モルタル)	m ³	1.424	69	0.0	1.7	0.0		令和7年度土木工事標準積算基準書 18-②-43 (COポンプ車)
	砂埋戻工	m ³	2.134	37	0.1	1.7	0.2		令和7年度土木工事標準積算基準書 18-②-1 (小規模)
				計	0.4		0.7	1	

工期算定表 (2/4)

M-2115-2 発進立坑

φ2000ケーシング 立坑深:3.968m

工種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	実働 日数	不稼働 係数	供用 日数	工期 日数	摘要
<立坑築造>									
機械掘削(先行掘削)	布掘り、BH平積0.6	m ³	15.823	30	0.5	1.7	0.9		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.16 表-1-6
機械設置撤去		回	1	5.9	0.2	1.7	0.3		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.436 1÷0.17(ラフテレシクレン)
圧入掘削積込み	1m当り施工時間=0.9(平均)	m	4.918	6.7	0.7	1.7	1.2		2019年推進工用機械器具損料参考資料P.810 1/0.9×(600÷100)
機械退避再設置		回		6.3	0.0	1.7	0.0		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.436 1÷0.16(ラフテレシクレン)
ケーシング溶接		m	6.5	33.3	0.2	1.7	0.3		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷(0.30÷10)(溶接工)
コンクリート打設	底盤	m ³	3.1	38.5	0.1	1.7	0.2		令和2年度下水道用設計標準歩掛表P.434 1÷(10÷0.26)(世話役)
ケーシング引上げ		m	0.90	16.1	0.1	1.7	0.2		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.441 1÷(0.62÷10)(TC)
養生一式		日					3.0		
				計	1.8		6.1	6	
<立坑撤去>									
ケーシング切断		m	12.011	33.3	0.4	1.7	0.7		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷(0.30÷10)(溶接工)
ケーシング撤去	φ2000	箇所	1	11.0	0.1	1.7	0.2		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷0.53×(760÷130)(C付T 4t級2.9t吊り)
埋戻し	購入土埋戻工(貧配合モルタル)	m ³	3.090	69	0.0	1.7	0.0		令和7年度土木工事標準積算基準書 18-②-43 (COポンプ車)
	砂埋戻工	m ³	5.205	37	0.1	1.7	0.2		令和7年度土木工事標準積算基準書 18-②-1(小規模)
				計	0.6		1.1	1	

工期算定表 (2/4)

M-2116-1-1 到達立坑

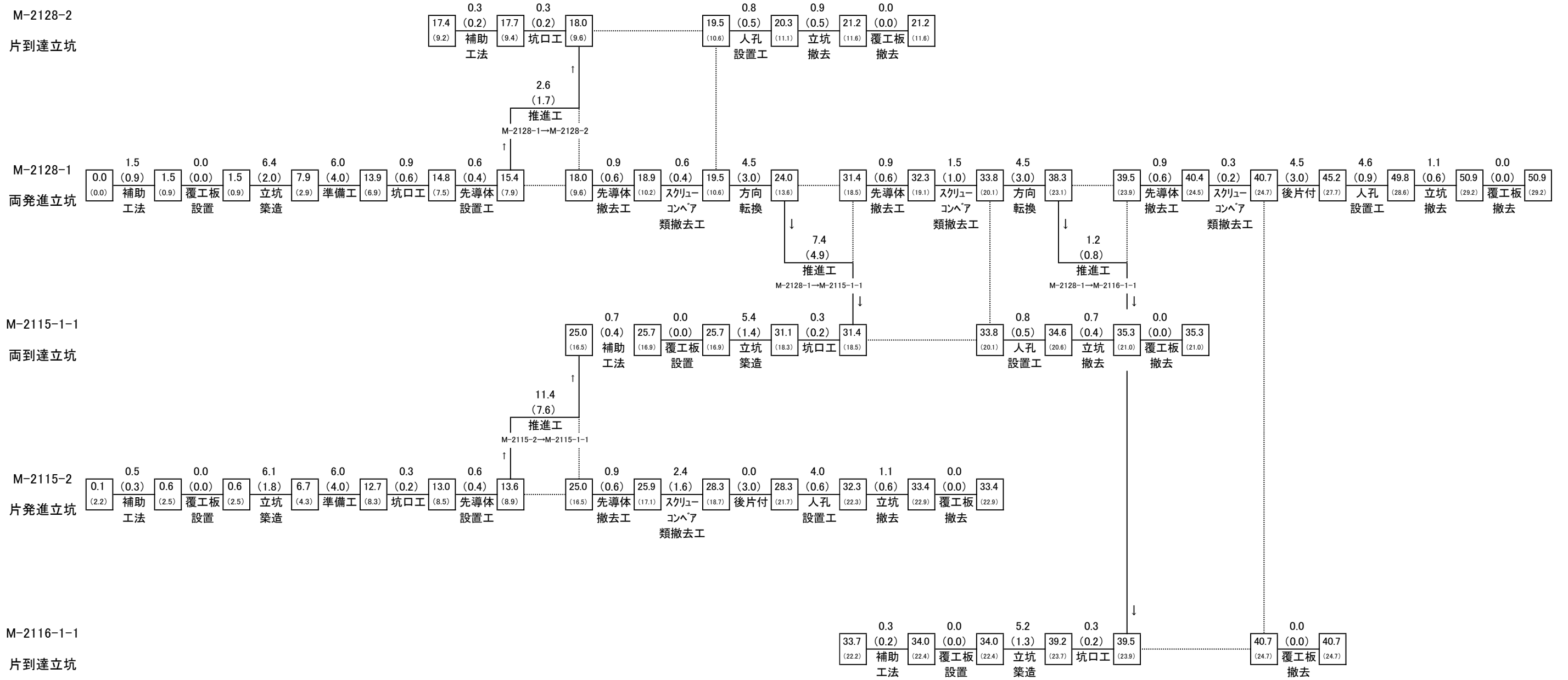
φ1500ケーシング 立坑深:3.266m

工種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	実働 日数	不稼働 係数	供用 日数	工期 日数	摘要
<立坑築造>									
機械掘削(先行掘削)	布掘り、BH平積0.6	m ³	7.727	30	0.3	1.7	0.5		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.16 表-1-6
機械設置撤去		回	1	5.9	0.2	1.7	0.3		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.436 1÷0.17(ラフテレンクレーン)
圧入掘削積込み	1m当り施工時間=0.9(平均)	m	4.236	6.7	0.6	1.7	1.0		2019年推進工用機械器具損料参考資料P.810 1/0.9×(600÷100)
機械退避再設置		回		6.3	0.0	1.7	0.0		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.436 1÷0.16(ラフテレンクレーン)
ケーシング溶接		m	4.9	33.3	0.1	1.7	0.2		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.431 1÷(0.30÷10)(溶接工)
コンクリート打設	底盤	m ³	1.8	38.5	0.0	1.7	0.0		令和2年度下水道用設計標準歩掛表P.434 1÷(10÷0.26)(世話役)
ケーシング引上げ		m	0.90	16.1	0.1	1.7	0.2		令和7年度下水道用設計標準歩掛表P.441 1÷(0.62÷10)(TC)
養生一式		日					3.0		
				計	1.3		5.2	5	
<立坑撤去>									
埋戻し	購入土埋戻工(貧配合モルタル)	m ³		69	0.0	1.7	0.0		令和7年度土木工事標準積算基準書 18-②-43 (COポンプ車)
	砂埋戻工	m ³		37	0.0	1.7	0.0		令和7年度土木工事標準積算基準書 18-②-1(小規模)
				計	0.0		0.0	0	

VPφ200 工程表

推進区間 上段: 供用日数

下段: 実働日数



交通整理員数量算定表 (1/2)

種 別	細 目	算 定 式			単 位	数 量
M-2128-2 片到達立坑		d= (21.2 日 - 17.4 日)	1.0	= 4 日		
		d= (日 - 日)	1.0	= 日		
		d= (日 - 日)	1.0	= 日		
				Σ d= 4 日		
		n= 4.0 日 × 2 人		= 8 人	人	8
M-2128-1 両発進立坑		d= (50.9 日 - 日)	1.0	= 51 日		
		d= (日 - 日)	1.0	= 日		
		d= (日 - 日)	1.0	= 日		
				Σ d= 51 日		
		n= 51.0 日 × 2 人		= 102 人	人	102
M-2115-1-1 両到達立坑		d= (35.3 日 - 25.0 日)	1.0	= 10 日		
		d= (日 - 日)	1.0	= 日		
		d= (日 - 日)	1.0	= 日		
				Σ d= 10 日		
		n= 10.0 日 × 2 人		= 20 人	人	20
M-2115-2 片発進立坑		d= (33.4 日 - 0.1 日)	1.0	= 33 日		
		d= (日 - 日)	1.0	= 日		
		d= (日 - 日)	1.0	= 日		
				Σ d= 33 日		
		n= 33.0 日 × 2 人		= 66 人	人	66

交通整理員 数量算定表 (2/2)

種 別	細 目	算 定 式	単 位	数 量
M-2116-1-1	片到達立坑	d= (40.7 日 - 33.7 日) 1.0 = 7 日		
		d= (日 - 日) 1.0 = 日		
		d= (日 - 日) 1.0 = 日		
		Σ d= 7 日		
		n= 7.0 日 × 2 人 = 14 人	人	14
合計				210

円形覆工板数量算定表 (1/2)

種 別	細 目	算 定 式	単位	数 量
M-2128-2 片到達立坑	在場期間	d= 21.2 日 - 17.7 日 = 4 日		
	設置撤去期間	d= (日 + 日)÷ = 日		
	準備・片付け期間	d= 5 日 + 4 日 = 9 日		
		Σ d= 13 日		
		m= 12.5 日 ÷ 30 日 + 11.00 (R6-4引継ぎ) = 11.4 月	ヶ月	12
M-2128-1 両発進立坑	在場期間	d= 50.9 日 - 1.5 日 = 49 日		
	設置撤去期間	d= (日 + 日)÷ = 日		
	準備・片付け期間	d= 5 日 + 4 日 = 9 日		
		Σ d= 58 日		
		m= 58.4 日 ÷ 30 日 = 1.9 月	ヶ月	2
M-2115-1-1 両到達立坑	在場期間	d= 35.3 日 - 25.7 日 = 10 日		
	設置撤去期間	d= (日 + 日)÷ = 日		
	準備・片付け期間	d= 5 日 + 4 日 = 9 日		
		Σ d= 19 日		
		m= 18.6 日 ÷ 30 日 = 0.6 月	ヶ月	1
M-2115-2 片発進立坑	在場期間	d= 33.4 日 - 0.6 日 = 33 日		
	設置撤去期間	d= (日 + 日)÷ = 日		
	準備・片付け期間	d= 5 日 + 4 日 = 9 日		
		Σ d= 42 日		
		m= 41.8 日 ÷ 30 日 = 1.4 月	ヶ月	2

6.路面覆工

見積等積算参考資料

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価
F0000000013	鋳鉄製マンホール蓋 Φ300 T-25	組	46,200
F0000000024	1号副管用マンホール継手 Φ200×Φ150	個	30,200
F0000000025	副管用固定バンド Φ150用	個	3,080
F0000000026	本管テレビカメラ搭載車損料 直視側視式 小中口径管	時間	15,112
F0000000027	滑材 硬質塩化ビニル管用	L	9
F0000000028	推進機等損料 油圧ユニット、反力板、検測機等含む	日	65,500
F0000000029	推進器具類損料（固定部）	式	4,255
F0000000030	推進器具類損料（変動部）	m	181
F0000000031	SUSカラー付直管（先頭管、標準管） VPΦ200mm L=1.0m/本	本	15,800
F0000000032	掘削添加剤 泥水調整剤	kg	4,980
F0000000033	汚泥吸引車損料 3.1～3.5t	時間	3,650
F0000000034	建設汚泥処理費	m ³	20,000
F0000000035	止水器 呼び径200用	組	34,500
F0000000036	電力料	kWh	41.04
F0000000037	地盤改良用薬液 溶解型無機瞬結タイプ	L	58
F0000000038	圧入機（揺動式）損料 Φ1500～Φ2000	時間	19,400
F0000000039	スクラップ ヘビーH1	t	-36,200
F0000000040	水中コンクリート 30-18-20N	m ³	27,200

F0000000041	刃先製作取付費 Φ1500	個	44,100
F0000000042	刃先製作取付費 Φ2000	個	57,600
F0000000043	鋼製ケーシング存置 Φ1500	m	234,000
F0000000044	鋼製ケーシング存置 Φ2000	m	288,000
F0000000045	仮設ケーシング損料 Φ1500	本	29,500
F0000000046	仮設ケーシング損料 Φ2000	本	36,900
F0000000047	円形覆工板賃料 Φ1500 T-25 1ヶ月以内	月	29,450
F0000000048	円形覆工板修理費及び損耗費 Φ1500 T-25	枚	8,700
F0000000049	円形覆工板賃料 Φ2000 T-25 1ヶ月～3ヶ月	月	38,950
F0000000050	円形覆工板修理費及び損耗費 Φ2000 T-25	枚	13,800
F0000000051	借地料 47,900 (円/m ²) × 0.06 × 8/12 × 200 (m ²)	式	383,200
F0000000054	鋳鉄製マンホール蓋 Φ300 T-14	組	44,000
F0000000057	異径ソケット Φ200-Φ150	個	8,000
F0000000058	転落防止はしご Φ600用	個	22,200
F0000000059	SUSカラー付直管 (最終管) VP Φ200mm L=1.0m/本	本	9,440
F0000000060	円形覆工板賃料 Φ1500 T-25 6ヶ月～12ヶ月	月	16,050